平成２５年度

自己点検・評価書
(学校評価報告書)

附属平野中学校

１　附属平野中学校の現況

（1）　学校名

大阪教育大学附属平野中学校

（2）　所在地

大阪市平野区流町２－１－２４

（3）　学級数・収容定員

９学級(１学年３学級)　収容定員３６０人(１学級４０人)

（4）　幼児・児童・生徒数

３５９人(男子１６０人・女子１９９人)

（5）　教職員数

校長(併任)　１人，副校長　１人，主幹教諭　１人，指導教諭　１人，教諭　１７人，非常勤講師　１０人
事務職員　３人(専任１人，事務補佐員３人，＜うち図書館司書１人＞)，用務員２人（うち併任１人）

２　附属平野中学校の特徴

伝統的に「行事で育つ附中生」と言われている。たとえば伝統行事の一つとして，昭和22年から，毎年，臨海学舎を実施しており，現在は岡山県倉敷市（六口島）で，１㎞と３㎞の遠泳を行っている。また，大阪教育大学，幼・小・高・特別支援学校と連携・共同しつつ，教育研究を推進している。

３　附属平野中学校の役割

（１）大学と一体となって，教育の理論と実際に関する研究並びにその実証を行う任務
（２）大学学生の教育の実地研究を行う任務
（３）他の学校との研究の交流を行い，提携して教育の振興に努める

４　附属平野中学校の学校教育目標

生徒一人ひとりの個性を尊重し，すべての素質を可能な限り最大限に発達させるために周到かつ細心な指導を徹底する。とくに教員と生徒，保護者，生徒相互との緊密な人間関係を確立し，自主的な生活態度と学習意欲を育成しながら，質実剛健な人間教育を期している。

(1)物事を合理的，科学的に探究し，豊かな創造性をもつ人間

①真理を追求し，そのことのすばらしさを理解することができる。
②物事を正しく判断することができる
③知識・技能を整理し，活用することができる
④創造性を高めるために，たえず努めることができる

(2)集団の規律を育て，情操豊かで，実践的意志力をもつ人間

①寛容の心をはぐくみ，互いに敬愛し，友情を育てることができる
②集団の意義を理解し，協力しあって集団生活の向上に努めることができる
③自然や芸術に親しみ，そのすばらしさに深く感動する心をもつことができる
④清らかな心を持ち，礼儀正しく，品位ある行動をとることができる
⑤物事に積極的に取り組み，計画を立て，着実にやり抜く強い意志を持つことができる

(3)自他の生命を尊重し，心身を鍛え，健康の維持増進に努める人間

①自他の生命を大切にすることができる
②質実剛健の精神を大切にすることができる
③健康でたくましい心身の鍛錬につとめることができる
④心身の健康に関する知識を身につけ，明るく豊かな生活を営むことができる

5　附属平野中学校の学校教育計画

⑴ 学校努力目標　　「自分自身の未来を切り開く力を育む学校」

「自分自身の未来を切り開く力を育む学校」づくりを，平成２５年度から平成２７年度までの３ヵ年の学校努力目標に設定した。

一人ひとりの子どもたちが「自分自身の豊かな未来」を築くためには，「家庭・学校・地域」が三位一体となって子どもたちを育むことが必要となる。とりわけ，人としての基礎的な力を育む家庭の役割と，社会生活を営むために必要となる基本的な力を育む学校の果たすべき役割は大きいといえる。

そこで，一人ひとりの子どもたちに「自分自身の未来を切り開くことができる力」を育むことを通じ，子どもたちの成長や発達を支え，促し，附属としての使命を果たしいきたいと考えている。

⑵ 平成２５年度　重点努力目標　「『生きる力』の育成と『確かな学力』の保障」

「『生きる力』の育成と『確かな学力』の保障」を「自分自身の未来を切り開く力」を育むことができる学校づくりの初年度の重点努力目標に設定した。

子どもたちは，今後，社会で生活していく中で，さまざまな壁にぶつかることがあると考える。その壁にぶつかったとき，壁を乗り越えよりよく生きていくために必要となる力として，「思考力」「判断力」「表現力」「創造力」「発想力」など，さまざまな力をあげることができると考える。

これらの力の総体は，とりもなおさず「生きる力」と「確かな学力」といいかえることができる。「安心・安全・信頼される学校」「健やかな身体と豊かなこころを育む学校」を築くとともに，「『生きる力』の育成と『確かな学力』を保障」するために，次のように，子どもたちを支援・指導し，育成していきたいと考える。

① 安全で，安心して過ごせる教育環境の整備

☆組織的な対応を通じて，どの子も支える

〇教職員全員で危機管理・危機対応に向かう
〇子どもの変化を見取り，子どもの悩みに答える
〇安全で清潔な学習環境を整える

② 健やかな身体と豊かなこころを育む教育活動の充実

☆３年間の見通しをもって，どの子も育む

〇臨海学舎・体育的行事・学校保健・保健体育教育を通じて健やかな身体の基礎を育てる
〇学校行事・生徒会活動・係り活動を通じて社会性を育てる
〇道徳教育・進路学習を充実し，豊かなこころを育み自分の生き方を考える

③ 「生きる力」の育成と「確かな学力」の保障

☆授業改善を図り，どの子も伸ばす

〇基礎的な知識・技能(3Rs)の確実な習得と，それらの活用を図る「確かな学力」を保障する授業づくり
〇「生きる力」を構成する「思考力・判断力・表現力」を高め，「創造性を伸ばす」授業づくり
〇「わかる授業」と「創造性を伸ばす授業」のバランスのとれた授業づくり

６　附属平野中学校の平成２５年度　重点目標(評価項目)，具体的な取組内容(評価指標)・評価結果

評価の基準

自己評価		学校関係者評価	
A	高いレベルで達成できた	A	とても適切である
B	達成できた	B	おおむね適切である
C	一部達成できなかった	C	あまり適切でない
D	ほとんど達成できなかった	D	適切でない
		E	判定できない

学校教育目標	「自分自身の未来を切り開く力を育む学校」
学校教育計画	(1)「安全で，安心して過ごせる教育環境の整備」 (2)「健やかな身体と豊かなこころを育む教育活動の充実」 (3)「『生きる力』の育成と『確かな学力』の保障」

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
(1) 安心・安全・信頼される学校 ☆組織的な対応を通じて，どの子も支える	①教職員全員で危機管理・危機対応に向かう。	・五校園共同防犯訓練・さすが股講習会を警察と連携し実施した。 ・水泳事故緊急通報訓練(救助を含)を消防・救急と連携し実施した。 ・消防・警察と連携し，防災・防火訓練を実施した。 ・危機管理に関する講習会を大学より講師を招き実施した。	・緊急時の対応として，無線連絡や携帯での連絡がスムーズに行えるよう機器の整備と携帯での連絡方法の整備を行った。 ・訓練に際し，安全主任を中心に警察・消防・救急との連絡調整を密にした。	B	・教員の姿勢により生徒の意識や動きが変わってくる。危機管理にかかわる教育活動の日常的点検が重要である。 ・今後の大災害に備えて，地域社会と連携した防犯，防災対策などに組むことが重要である。	B	・危機管理意識を高めるための訓練や講師を招聘した講習会の充実を図る。 ・地域の関係諸機関と連携した研修会・訓練を実施していきたい。
	②子どもの変化を見取り，子どもの悩みに答える。	・Ｑ－Ｕの調査を年２回(6月・11月)に実施し，生徒理解を深め学級・学年経営に生かした。 ・生徒指導主事を中心とする生徒指導体制を整えるともに，毎月の定例学年会の充実を図り，諸問題に即応する体制を整えた。	・ハイパーＱ－Ｕを６月に実施，し，個々の生徒の具体像の把握に努めた。 ・いじめ問題対策委員会を立ち上げるともに，子ども相談所との連携を図り，諸問題の解決を図った。	B	・いじめや子ども同士のトラブルには，LINEやＳＮＳが関わっている。保護者を含めた啓発が必要である。 ・初期対応が重要となってくるので，教員の意識を一層高めることが求められる。	A	・「スマホ時代のリスクとスキル」について，講師を招聘し保護者への啓発を行う。 ・講師を招聘し，生徒指導・初期対応についての研鑽を深め，教職員の意識を高める。
	③安全で清潔な学習環境を整える。	・感染症等の予防対策として，加湿機能付き空気清浄器を普通教室に設置し学習環境を整えた。 ・３年教室の生徒用ロッカーを入れ替え， 学習環境を整えた。	・全員清掃の時間帯を見直すとともに，美化委員会を中心に啓発活動を行った。 ・保健委員会を中心に健康管理の啓発活動を行った。	B	・校舎改築後の安全点検，整備を通じて，生徒の学習環境をよりよいものにしていくことが重要である。	B	・日常点検を充実させ，教職員一人ひとりが，学習環境の整備を図るように努めさせる。

（2）健やかな身体と豊かなこころを育む学校 ☆３年間の見通しをもって，どの子も育む	①臨海学舎・体育的行事・学校保健・保健体育教育を通じて健やかな身体の基礎を育てる。	・保健委員会を中心に「保健だより」の充実を図り，健康管理への啓発活動の活性化を図った。 ・臨海学舎や各種体育的行事を通じて，基礎体力の向上を図った。	・講師を招聘し柔道の指導者講習会を保健体育教諭及び部活顧問対象に行い，安全・管理面への配慮や基礎トレーニング方法を学ばせた。	B	・さらなる体力の増進を図るとともに，事故・怪我を未然に防ぐための方策を周知することが求められる。	B	・救命救急講習や応急処置の仕方，怪我のメカニズムなどについての講習を生徒対象に行いたい。
	②学校行事・生徒会活動・係り活動を通じて社会性を育てる。	・体育祭や文化祭等の学校行事を通じて，自主的な活動を促し，自分たちの力で学校行事をつくりあげていけるようにした。	・生徒会を中心に東北プロジェクト，地域清掃活動，エコキャップ運動などを展開させ，地域貢献活動を促した。	A	・保護者・地域との連携を図り，社会性を身に付けさせる機会をより増やすことが大切である。	A	・家庭だけでなく，NPO 法人などとも連携を深め，社会で活動することの意義を認識させる機会をもちたい。
	③道徳教育・進路学習を充実し，豊かなこころを育み自分の生き方を考える。	・「心の輪を広げる体験作文」「障がい者週間のポスター」「わがまちのやさしさ発見レポート」などに全校をあげて取り組み，内閣府優秀賞など優れた成果を上げた。 ・府下の私立高校 15 校を学校に招き，説明会を実施した。	・学年として統一した教材・指導案を用い道徳授業を実践した。 ・「進路の手引き」を作成するなど，生徒に多様な進路情報を提供し，自身の進路に対する意識を高めさせた。 ・保護者を対象とした進路説明会の充実を図った。	A	・優れた成果があげられているので，今後もその努力を続けてほしい。 ・地域・OB などの人材を活用し，さらなるキャリア教育の充実を図って欲しい。	A	・２年生の総合的な学習の時間で，地域の教育力を活用したキャリア教育の導入を図っていきたい。
（3）『生きる力』の育成と『確かな学力』の保障 ☆授業改善を図り，どの子も伸ばす	①基礎的な知識・技能（3Rs）の確実な習得と，それらの活用を図る「確かな学力」を保障する授業づくり。	・放課後学習として「アドバンス・スタディー」を設け，基礎的な知識・技能の定着を図った。 ・ICT 機器の活用を図り，「わかる授業」の構築を促し，生徒の知識の共有化を図った。	・「アドバンス・スタディー」では，学年団を中心に日々の点検・評価活動の充実を図った。 ・年間授業時数を増やすとともに，大学の協力を得て ICT 機器の整備・充実を図れた。	A	・「アドバンス・スタディー」の大きな成果を期待する。 ・大学との連携を深め，同じ学舎で学ぶ中・高が連携して育成すべき力や能力を明確化していくことが必要である。	A	・「国際化社会に対応できる能力」を中・高で育成していきたい。 ・教員だけでなく生徒も含め，ICT 機器をよりスムーズに活用できる学習環境を整える。
	②「生きる力」を構成する「思考力・判断力・表現力」を高め，「創造性を伸ばす」授業づくり。	・五校園の共同研究のテーマとして「授業のユニバーサルデザイン化」を掲げ，各教科の授業において，「学び合い」の場を設定し，思考力・表現力の育成を図った。	・1 年生の総合的な学習において，特別支援学校と「共同及び交流学習」を大学と連携し進めた。 ・家庭科の保育領域において，幼稚園との交流学習を進めた。	B	・研究発表会を契機として，その成果が日常の授業に十分反映され，授業の更なる充実を期待したい。	B	・授業評価を導入し，個々の教員の授業改善の視点を明確化し，教員の授業力をあげる。
	③「わかる授業」と「創造性を伸ばす授業」のバランスのとれた授業づくり。	・五校園共同研究の各教科部会で，生徒の発達段階に応じて，基礎・基本の充実を図る「わかる授業」と「創造性を伸ばす授業」との整合性，導入方法などを検討し，授業実践を行った。	・「わかる授業」の充実を図るために電子黒板・タブレット端末の活用を図り，教材の視覚化・焦点化を進めた。 ・各授業で発表・表現活動の場を設定し，「創造性」を養った。	B	・各教科において「創造性を伸ばす授業」の多様で具体的な実践が望まれる。 ・大学と連携し，大学院生の研究授業などを通じて，授業改善の視点を養うことも大切である。	A	・教師自身が「創造性を伸ばす」工夫をするための自己研鑽の機会の充実を図る。 ・どの教科も恒常的に「学び合い」の場を取り入れた授業を展開し，「創造性」を伸ばす。

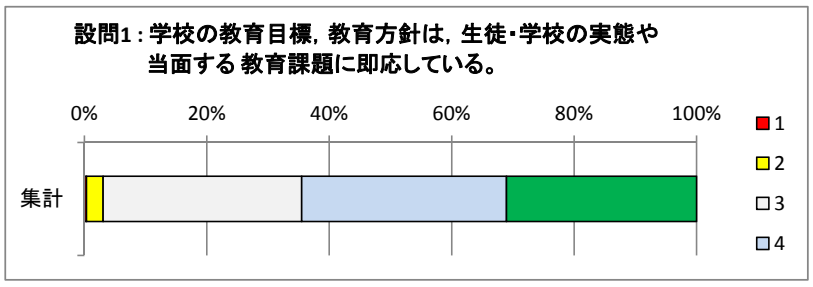
平成25年度

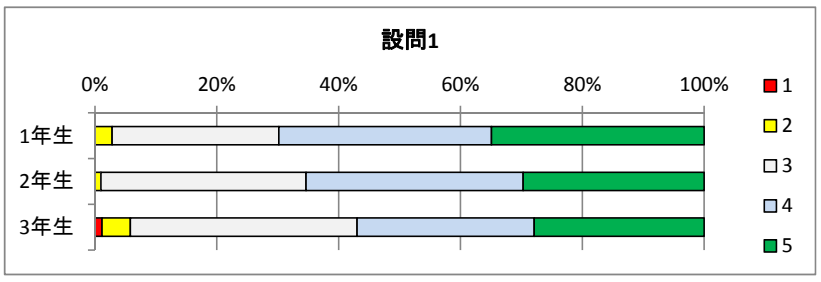
学校診断アンケート結果
保護者向け

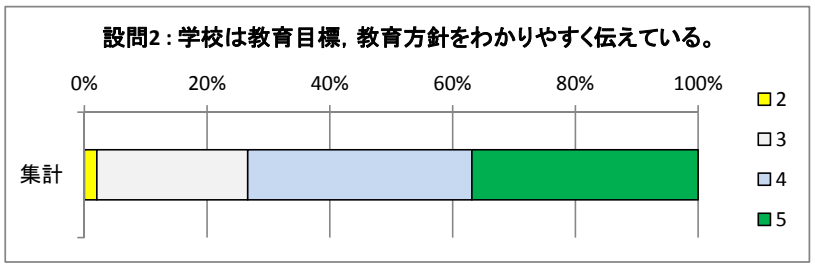
12月実施

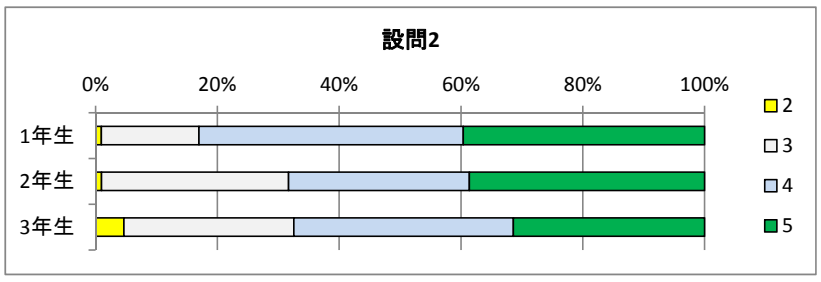
1 不十分
2 やや不十分
3 普通
4 ややよい
5 よい

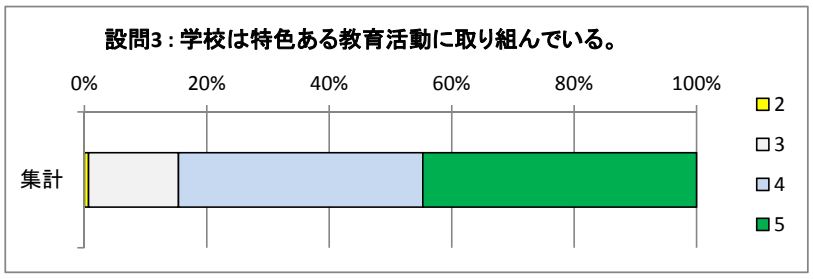
学年	在籍数	回答数
1年	120	106
2年	120	101
3年	119	86
合計	359	293

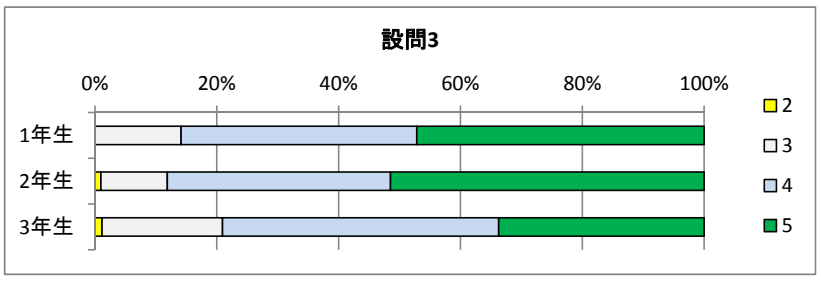


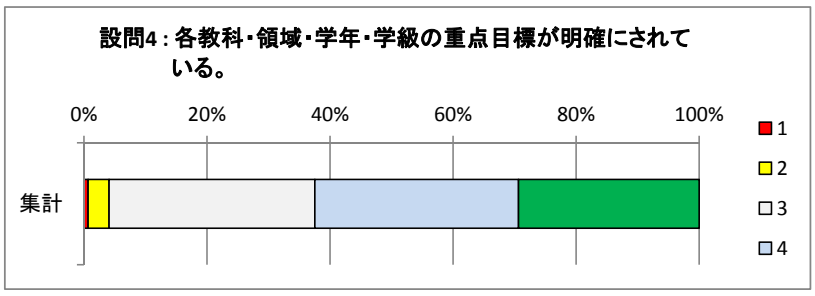


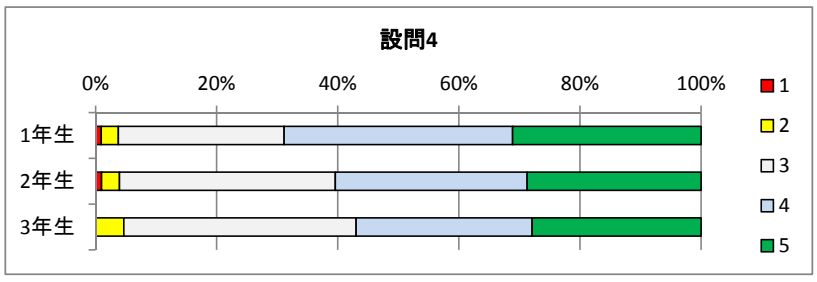


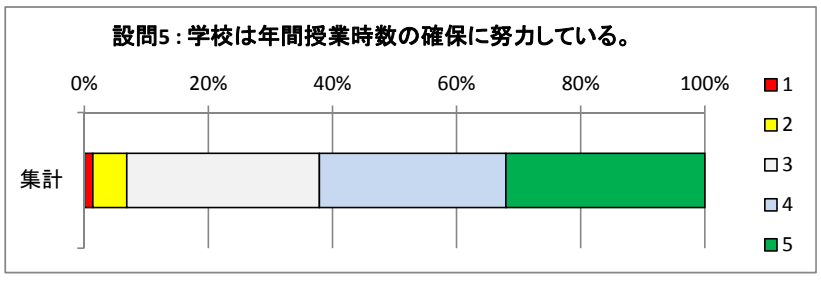


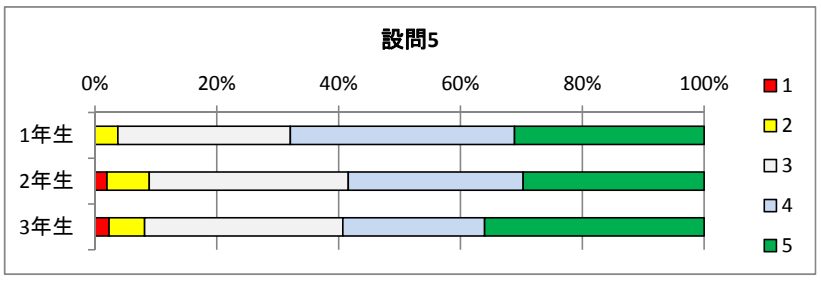


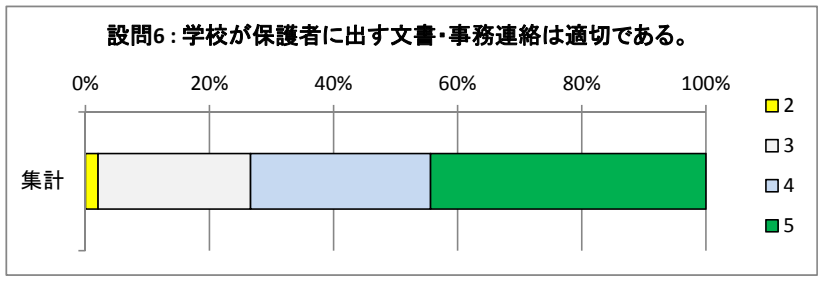


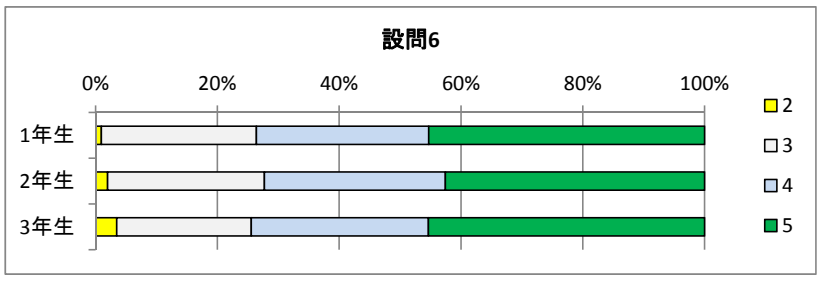


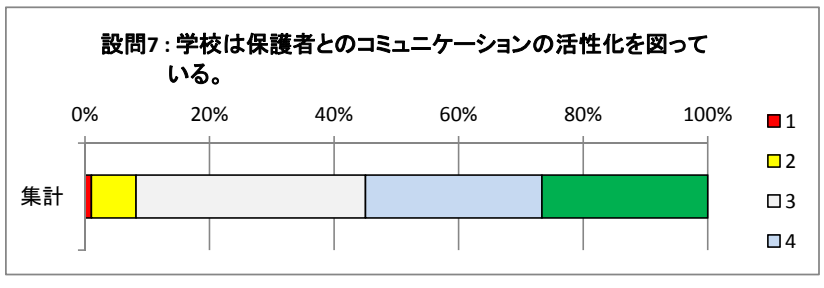


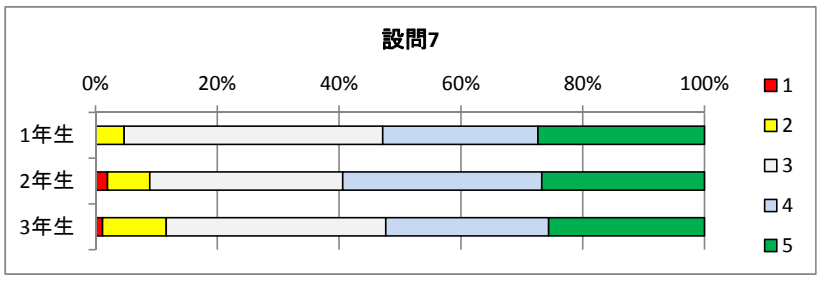




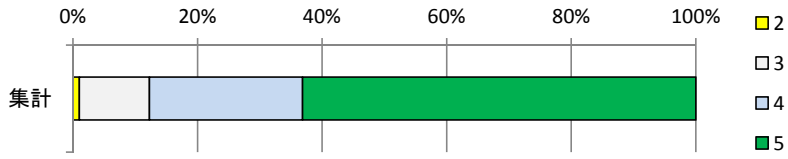




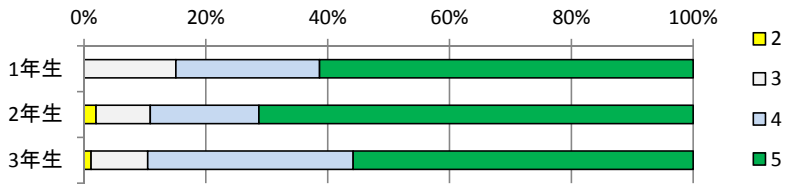




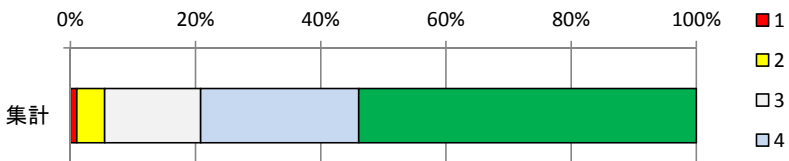
設問8 : 学校の保護者との緊急連絡システム(メールシステム)は有効にはたらいている。



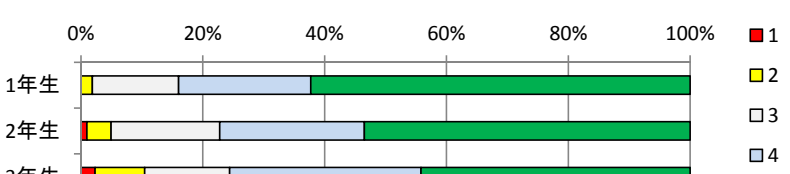
設問8



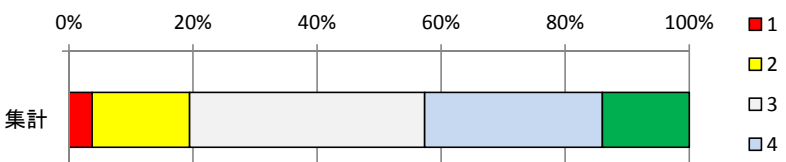
設問9 : 子どもは，学校へ行くのを楽しみにしている。



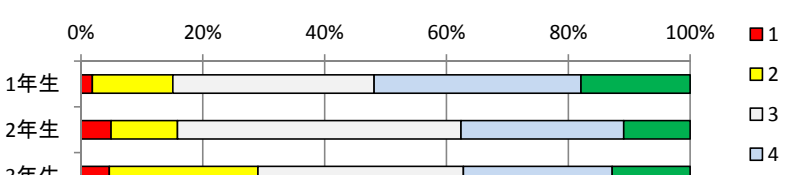
設問9



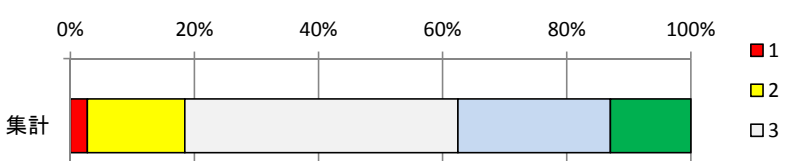
設問10 : 子どもは，授業が楽しくわかりやすいといっている。



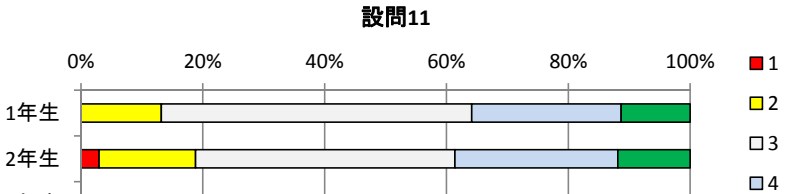
設問10



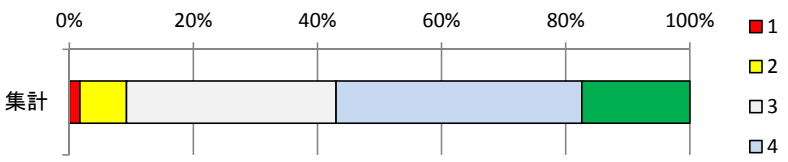
設問11 : 生徒の個性や能力に応じた指導を工夫している。



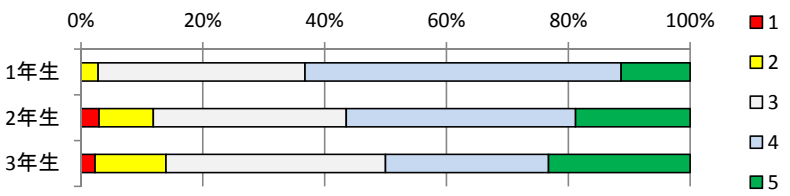
設問11



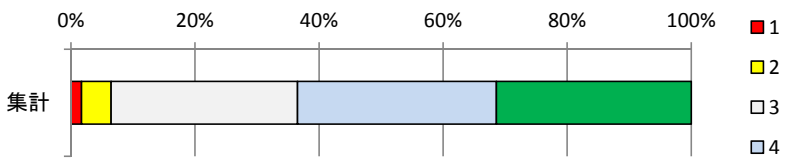
設問12 : 生徒が進んで課題を追求する態度を育てる授業を工夫している。



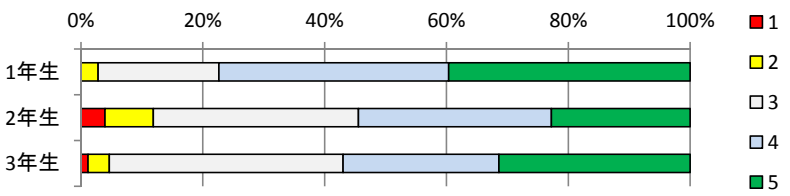
設問12



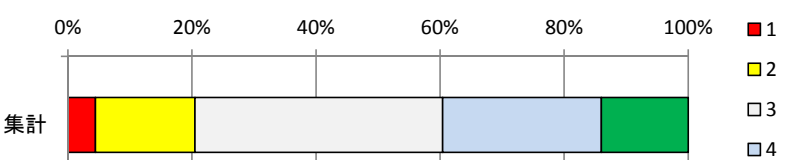
設問13 : 学習の態度や取り組み状況を学級(学年)PTAや学級(学年)通信などで知ることができる。



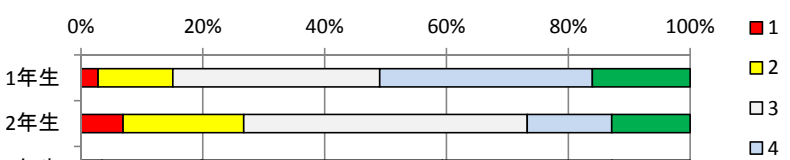
設問13



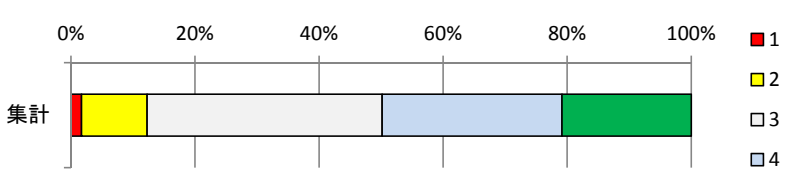
設問14 : 宿題は内容・量的に適切である。



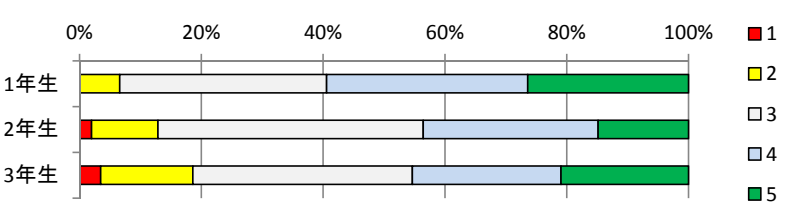
設問14

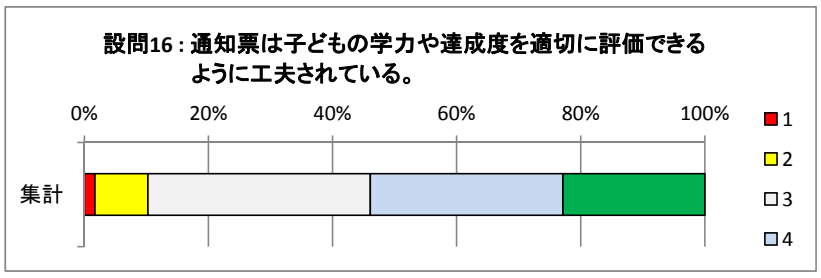


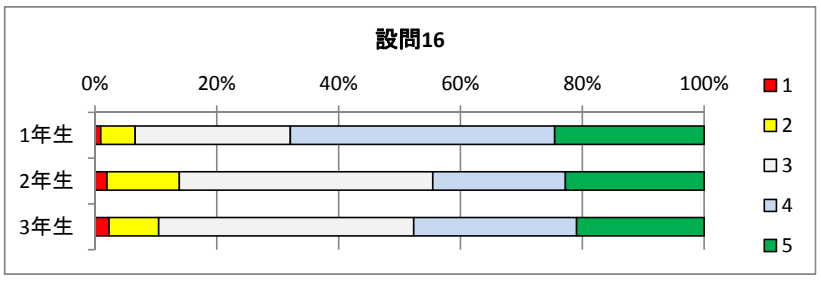
設問15 : 先生は子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。

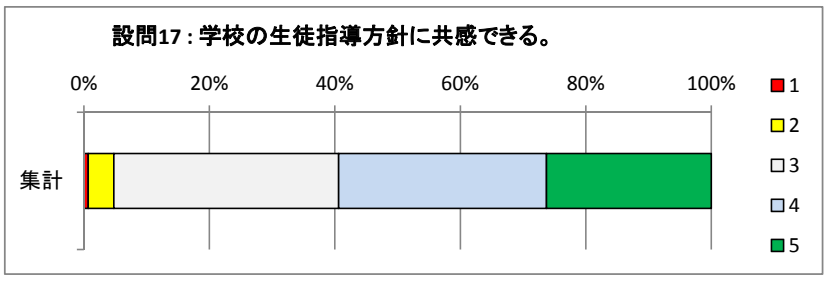


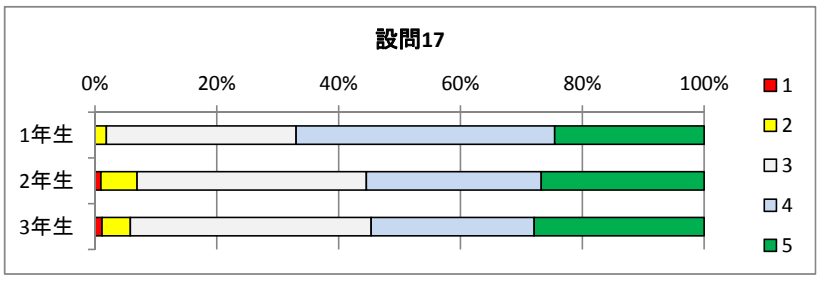
設問15

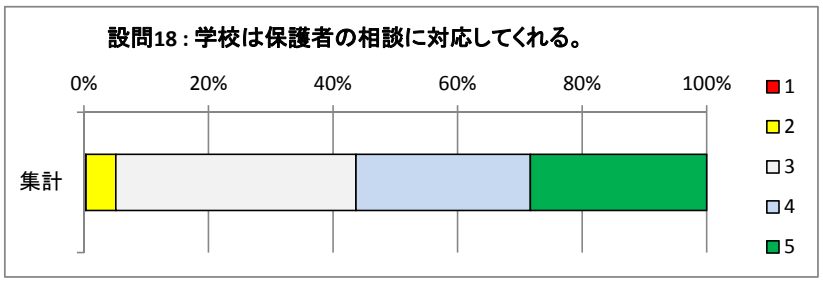


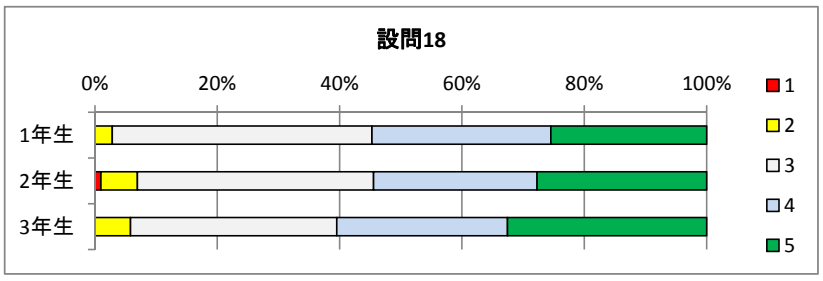

設問16 : 通知票は子どもの学力や達成度を適切に評価できるように工夫されている。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4

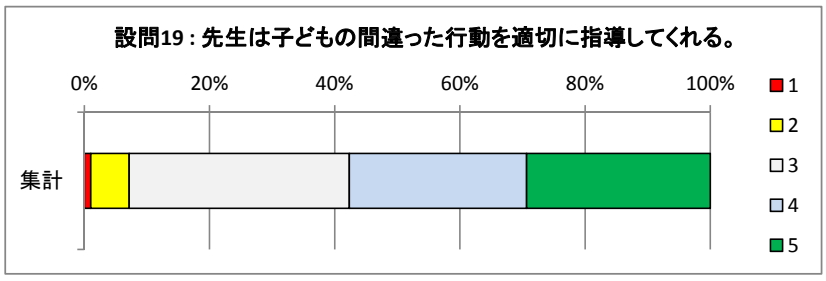

設問16
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1年生
2年生
3年生
1
2
3
4
5

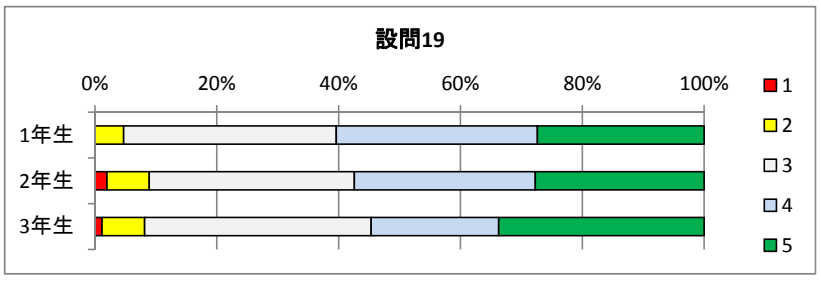

設問17 : 学校の生徒指導方針に共感できる。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

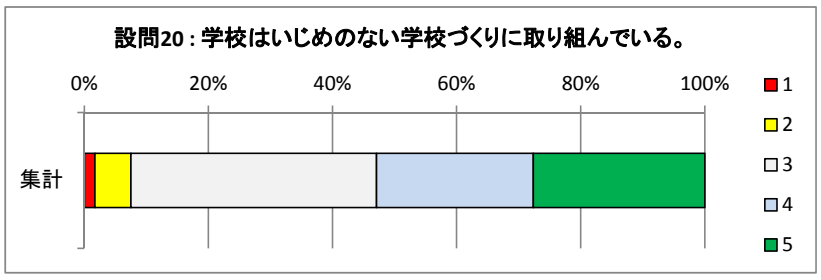

設問17
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1年生
2年生
3年生
1
2
3
4
5

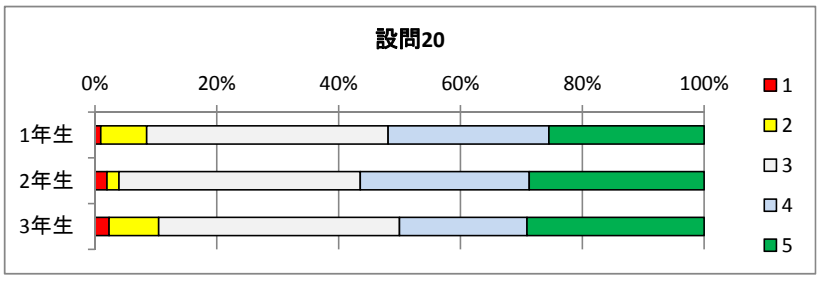

設問18 : 学校は保護者の相談に対応してくれる。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

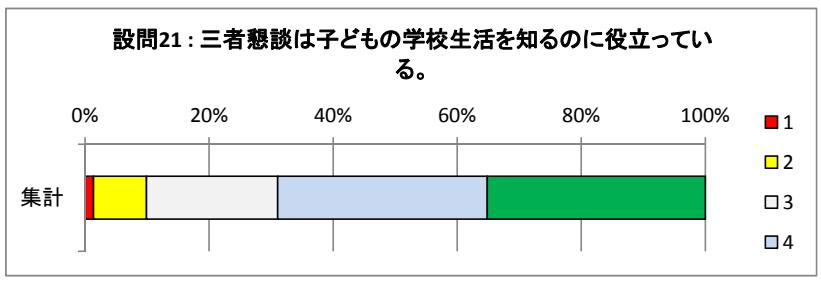

設問18
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1年生
2年生
3年生
1
2
3
4
5

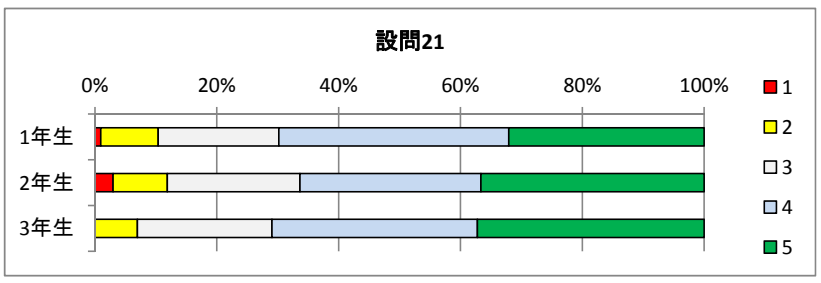

設問19 : 先生は子どもの間違った行動を適切に指導してくれる。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

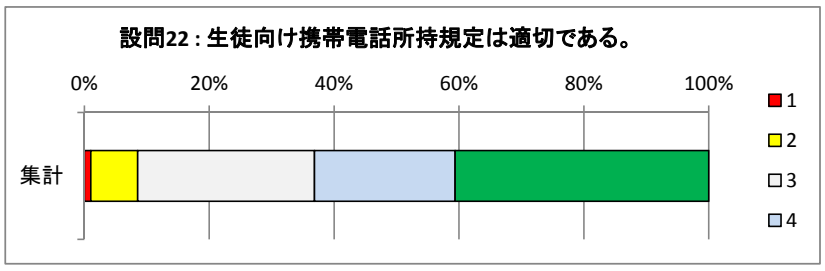

設問19
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1年生
2年生
3年生
1
2
3
4
5

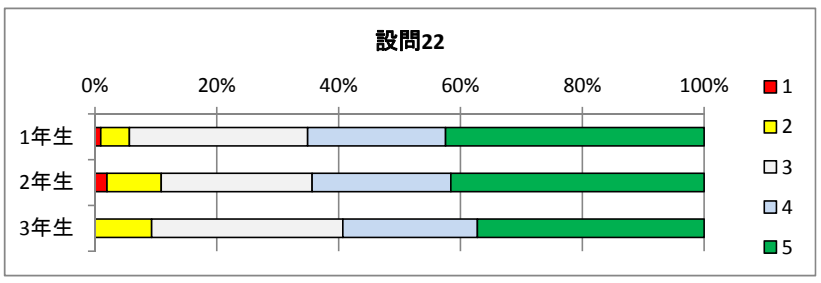

設問20 : 学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

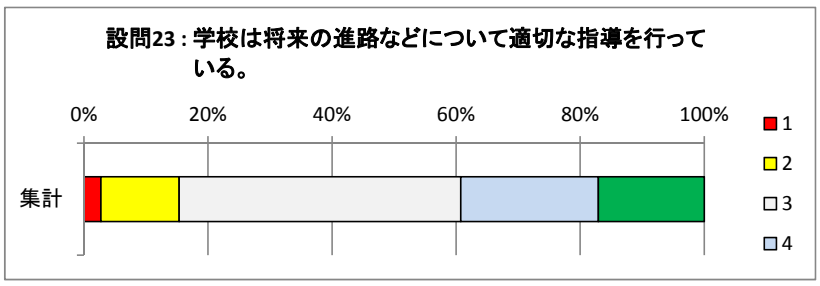

設問20
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1年生
2年生
3年生
1
2
3
4
5

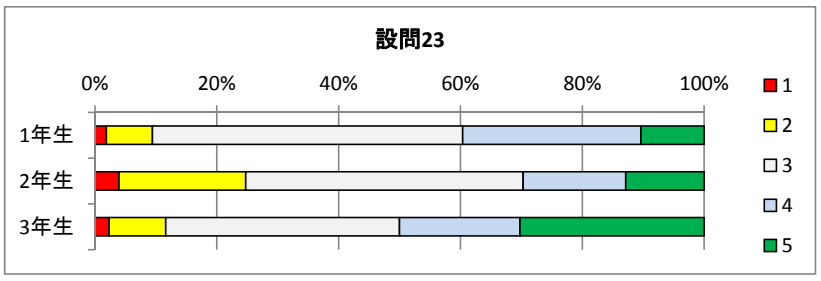

設問21 : 三者懇談は子どもの学校生活を知るのに役立っている。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4


設問21
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1年生
2年生
3年生
1
2
3
4
5

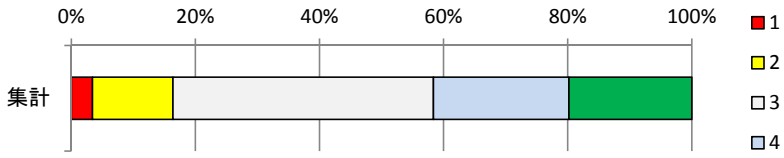

設問22 : 生徒向け携帯電話所持規定は適切である。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4


設問22
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1年生
2年生
3年生
1
2
3
4
5

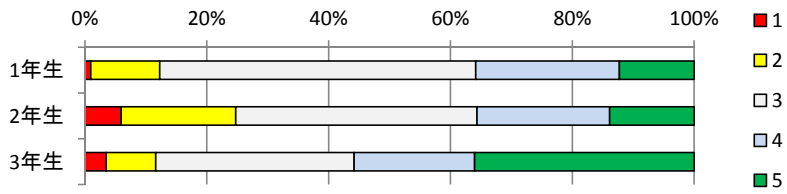

設問23 : 学校は将来の進路などについて適切な指導を行っている。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4


設問23
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1年生
2年生
3年生
1
2
3
4
5

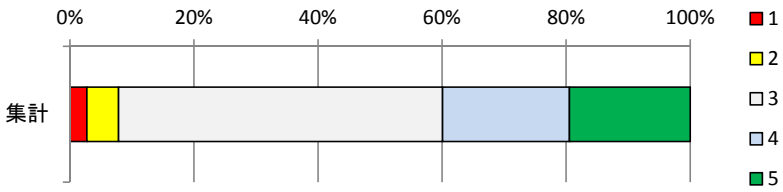
設問24 : 学校は進路に関して，家庭への連絡や懇談など適切な情報提供を行っている。



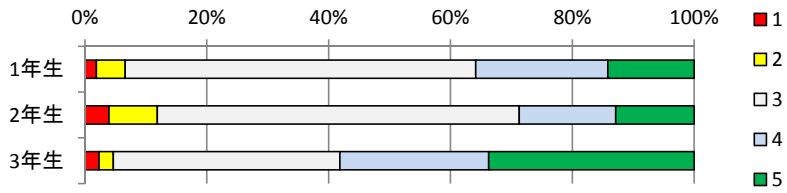
設問24



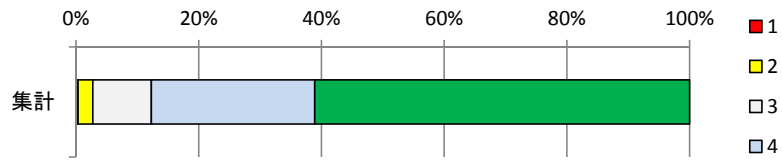
設問25 : 生徒や家庭の希望を尊重した進路指導を行っている。



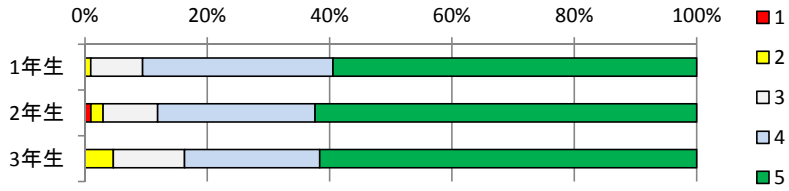
設問25



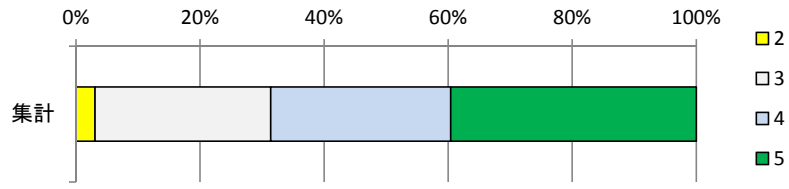
設問26 : 子どもは体育祭，文化祭，宿泊行事などの学校行事に積極的に参加している。



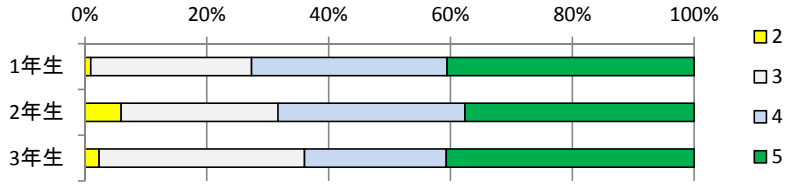
設問26



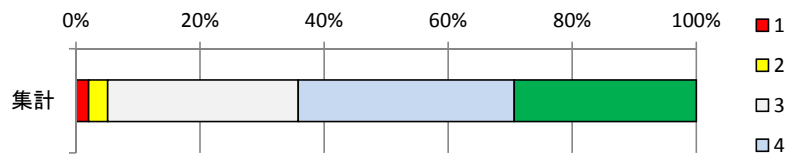
設問27 : 学校行事の種類や回数，内容は適切である。



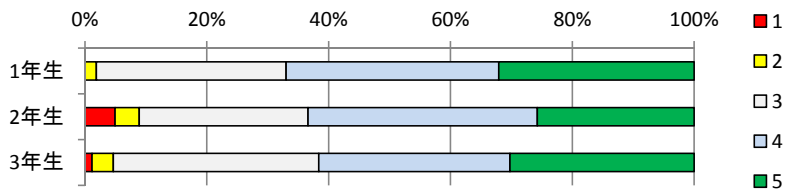
設問27



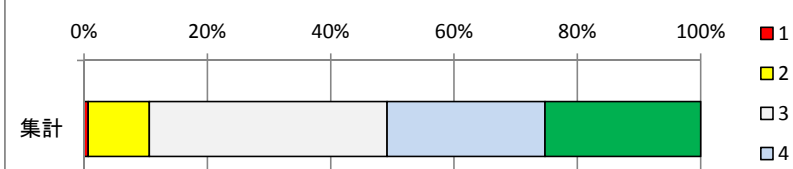
設問28 : 先生は全ての教育活動において，生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。



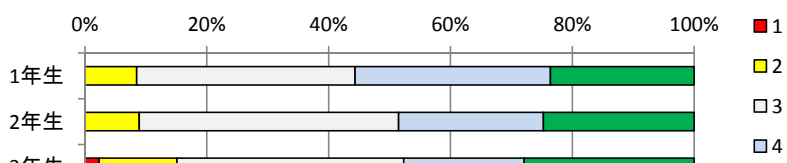
設問28



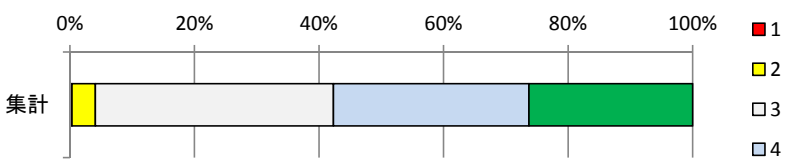
設問29 : PTA活動はだれでも参加しやすい環境になっている。



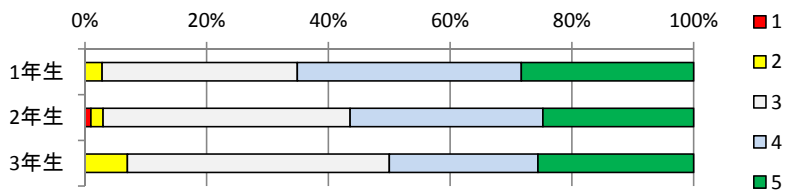
設問29



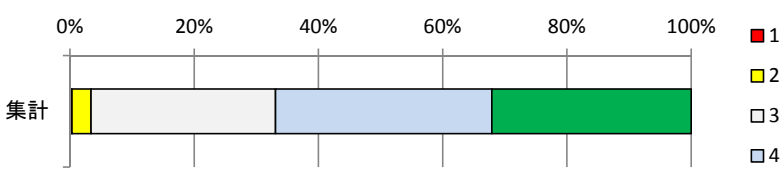
設問30 : 学校はPTAとの連携を深める諸活動を積極的に進めている。



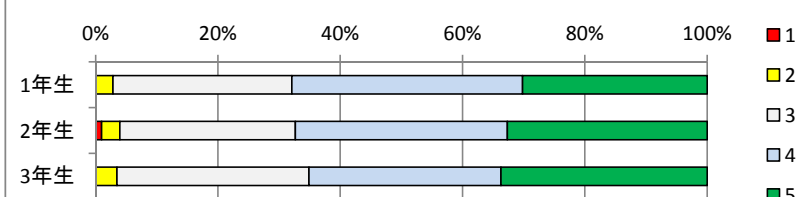
設問30

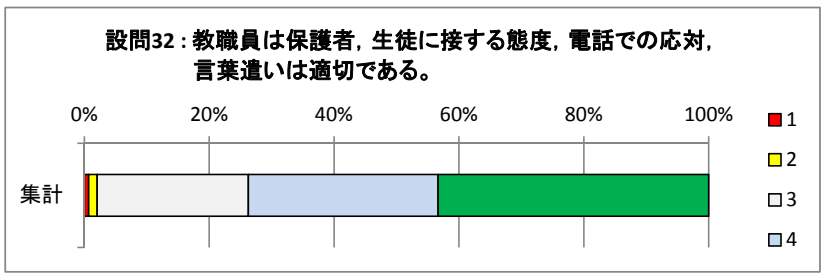


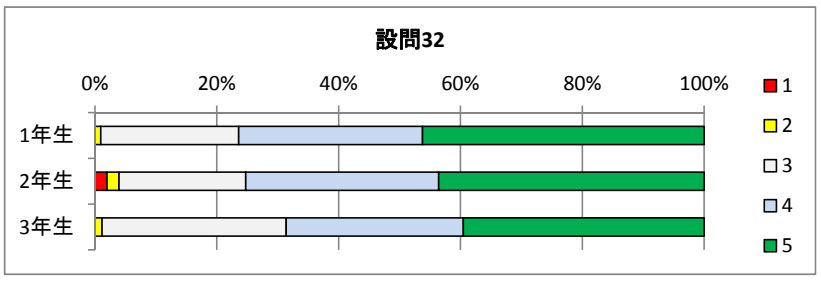
設問31 : 学年PTA，学級PTA，懇談会などは，学校と家庭の連携を 深めるのに有効にはたらいている。

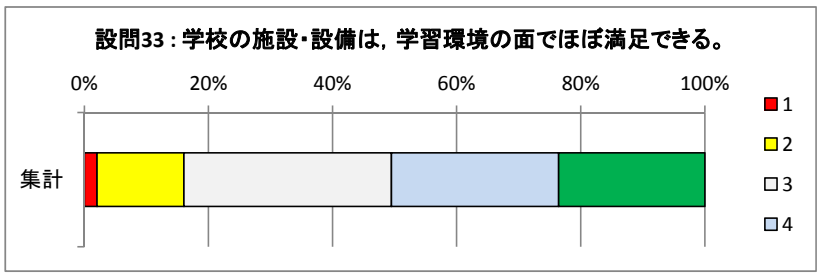


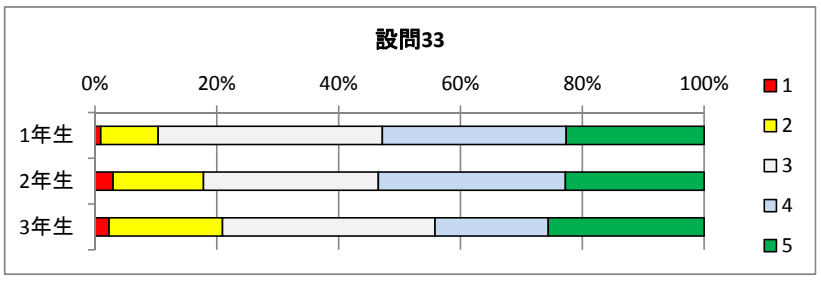
設問31

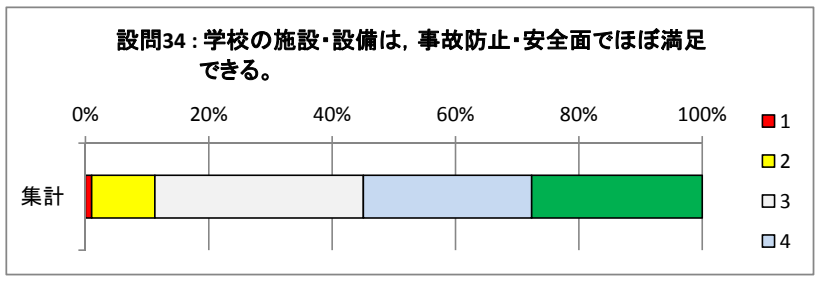


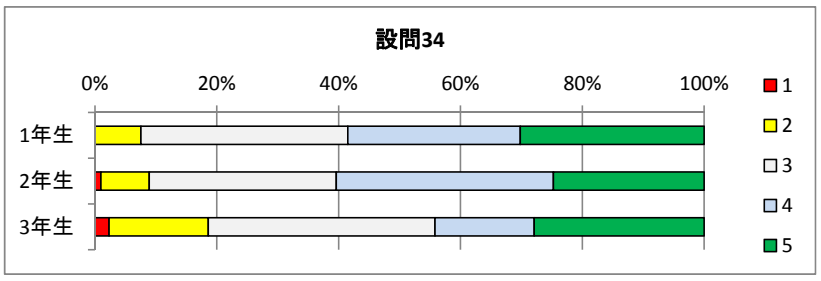












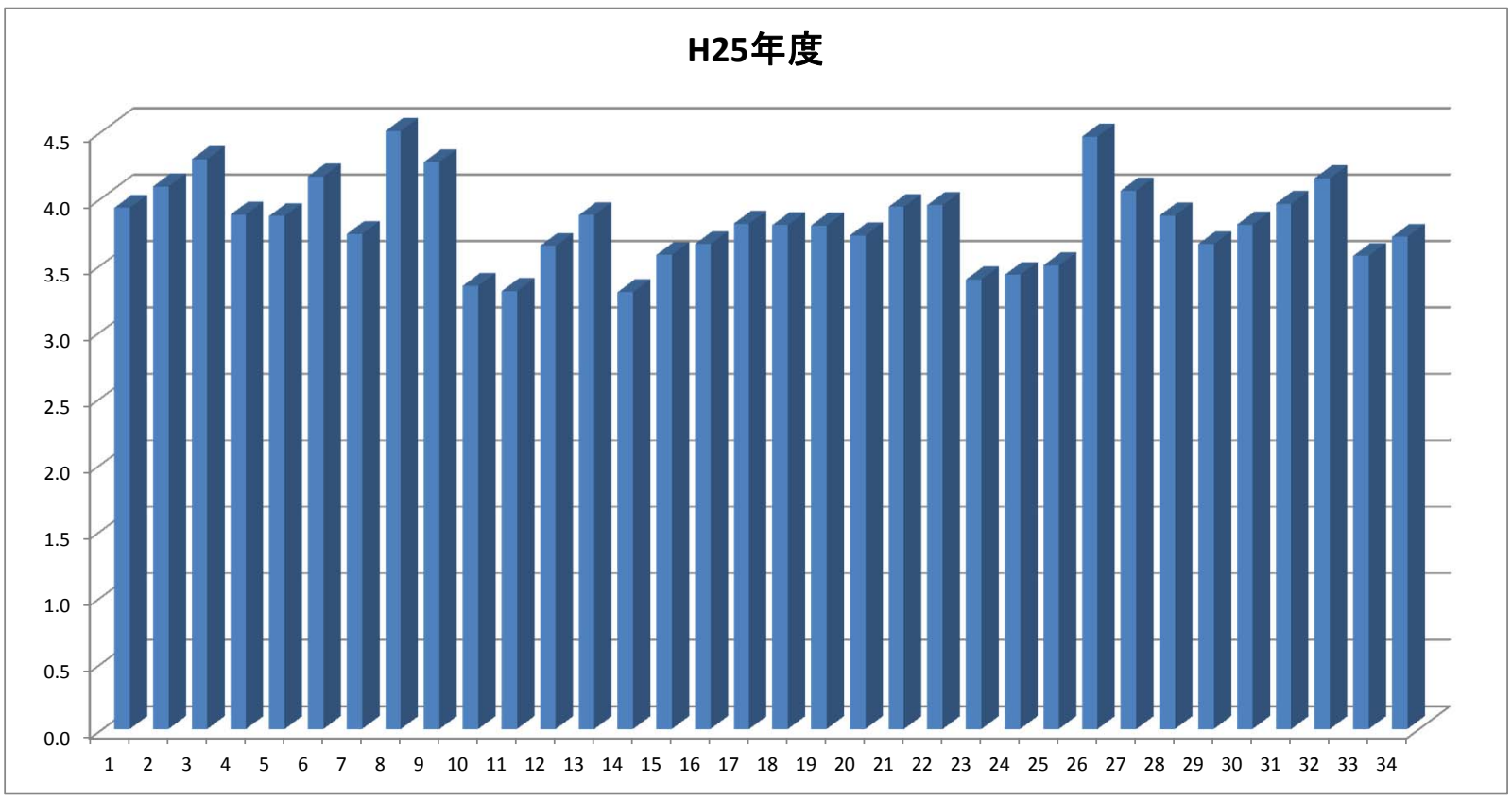
各項目の平均点

H24年度より伸びた項目

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
H25年度	3.9	4.1	4.3	3.9	3.9	4.2	3.7	4.5	4.3	3.3	3.3	3.6	3.9	3.3	3.6
H24年度	3.7	3.9	4.1	3.7	3.6	4.1	3.7	4.4	4.2	3.2	3.0	3.4	3.7	3.2	3.5
H23年度	3.7	3.9	4.2	3.7	3.7	4.0	3.7	4.4	4.3	3.2	3.0	3.4	3.7	3.2	3.5

設問	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
H25年度	3.6	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.4	3.4	3.5	4.5	4.1	3.9	3.6	3.8
H24年度	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.9	3.9	3.2	3.3	3.3	4.4	4.0	3.7	3.5	3.7
H23年度	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	4.0	3.9	3.3	3.3	3.4	4.4	4.0	3.7	3.5	3.8

設問	31	32	33	34
H25年度	4.0	4.1	3.6	3.7
H24年度	3.8	4.0	3.4	3.5
H23年度	3.9	4.1	3.2	3.4

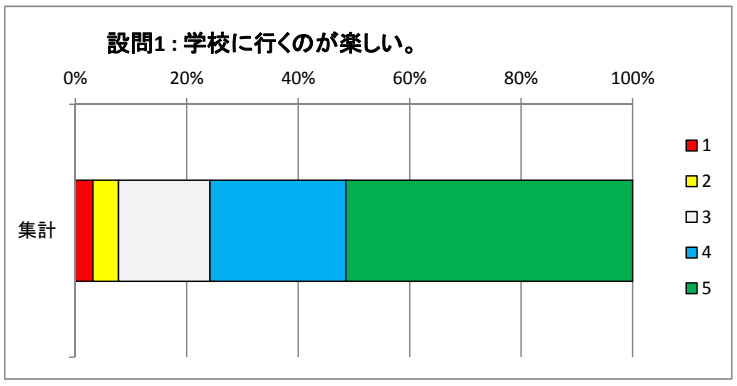


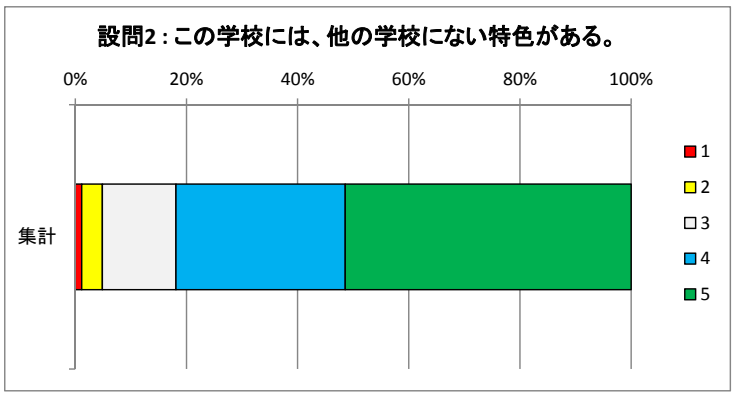
平成25年度　生徒向け学校診断アンケート結果　H25.12.11実施

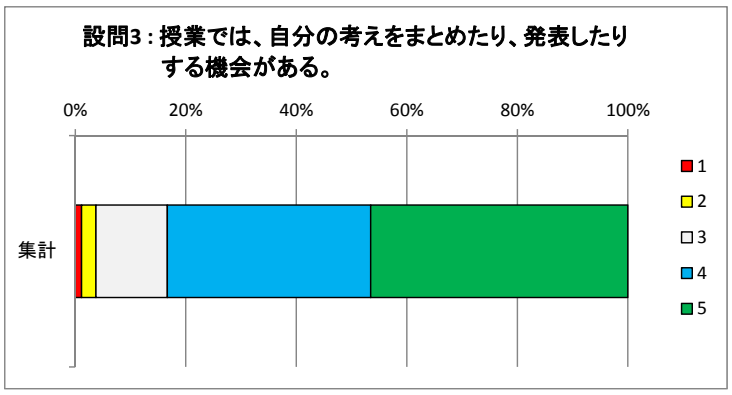
1 あてはまらない
2 あまりあてはまらない
3 どちらともいえない
4 少しあてはまる
5 とてもあてはまる

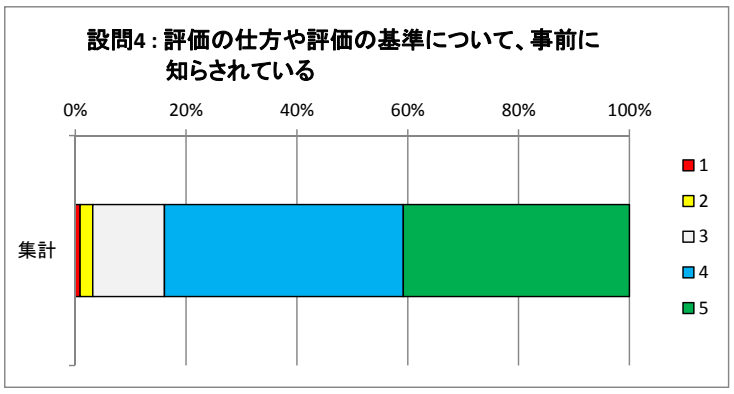
学年	在籍数	回答数
1年	120	119
2年	120	117
3年	119	112
合計	359	348

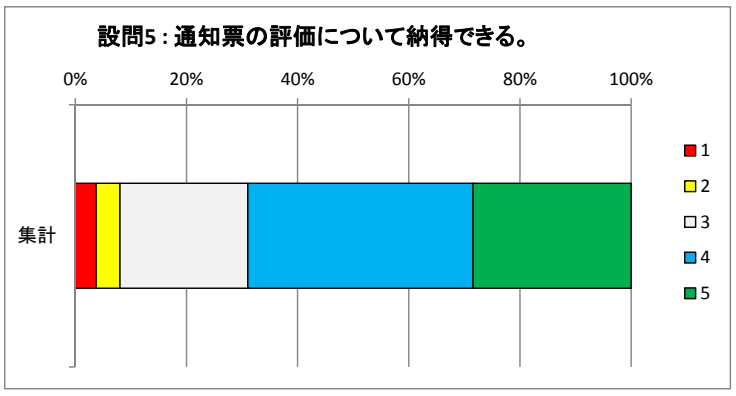
全体集計



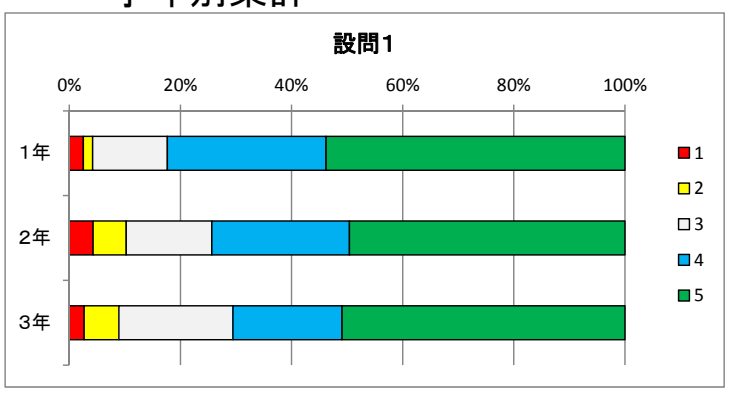


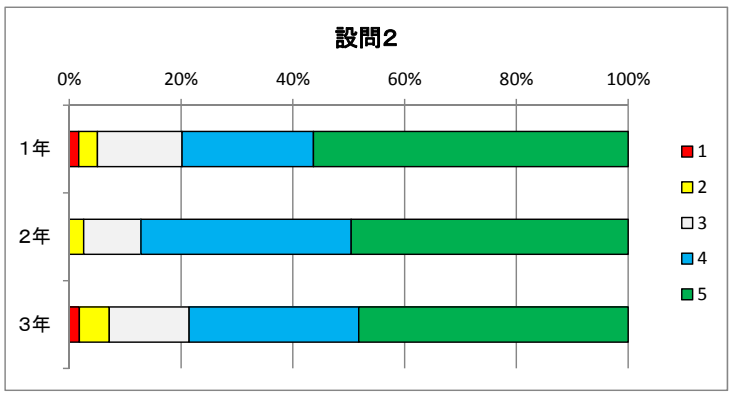


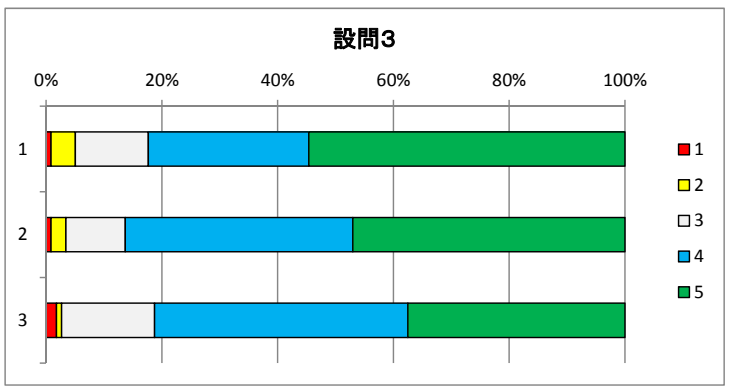


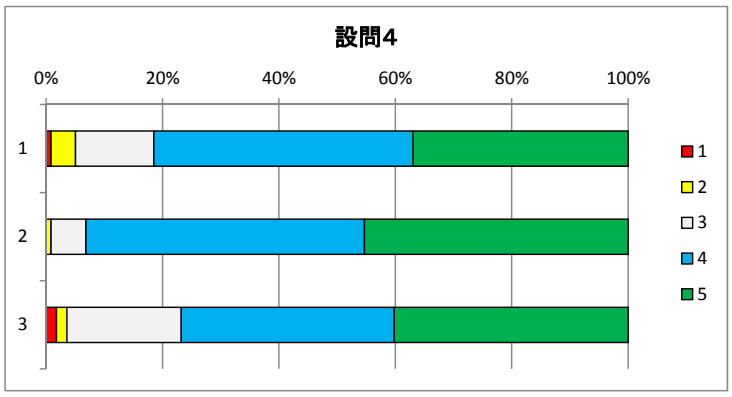


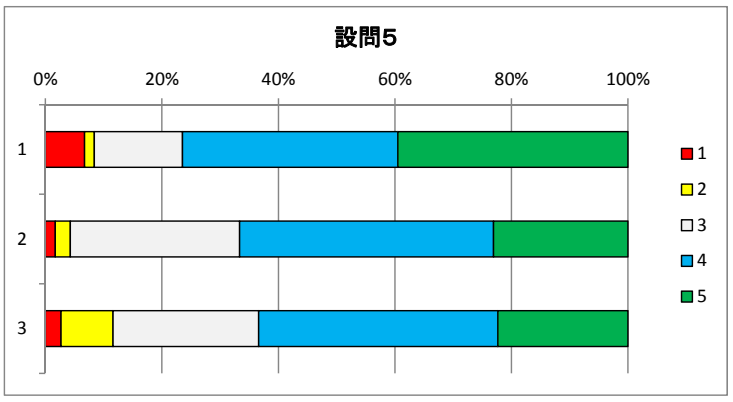
学年別集計

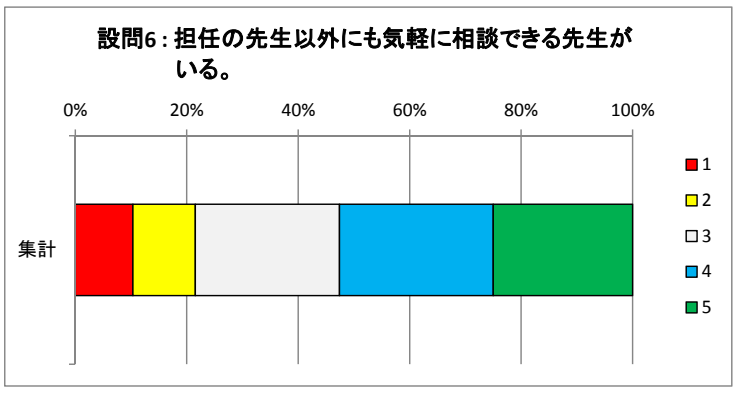


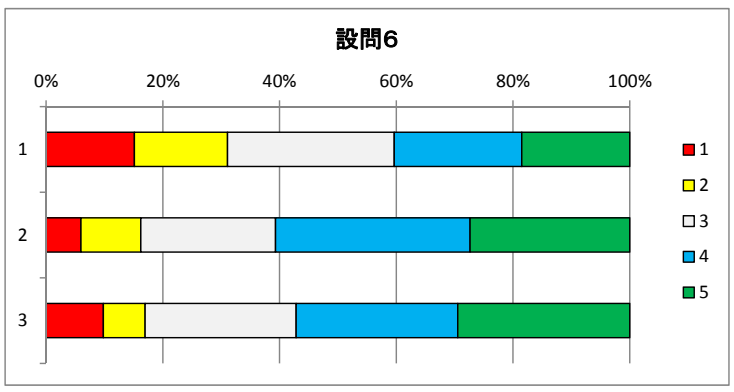


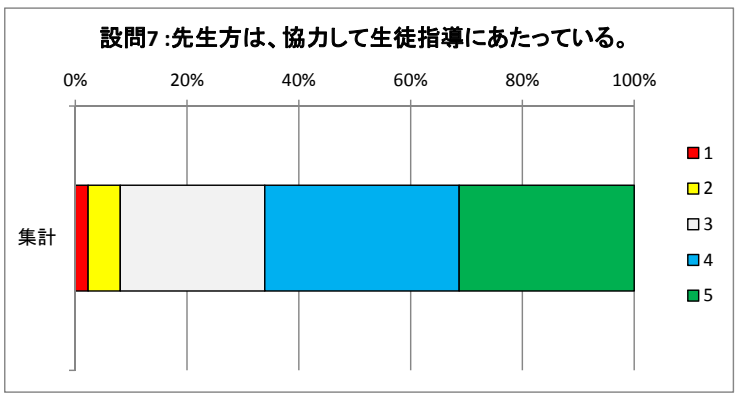


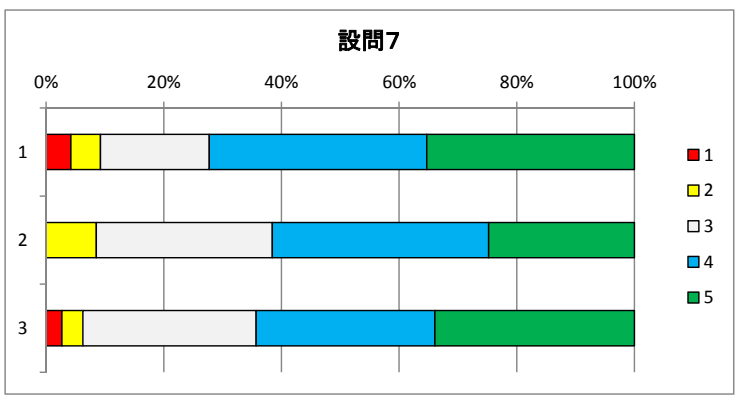


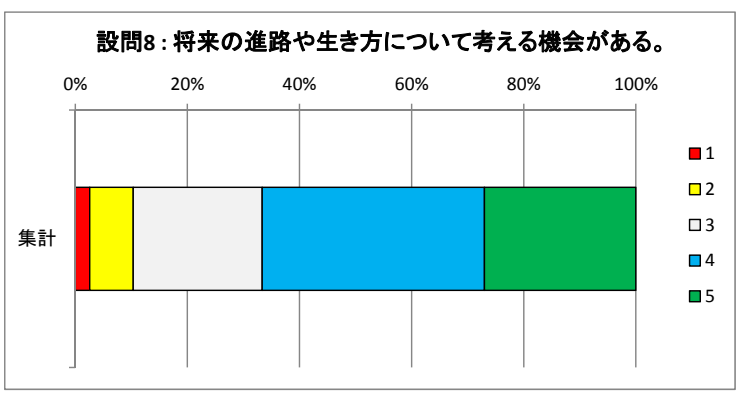


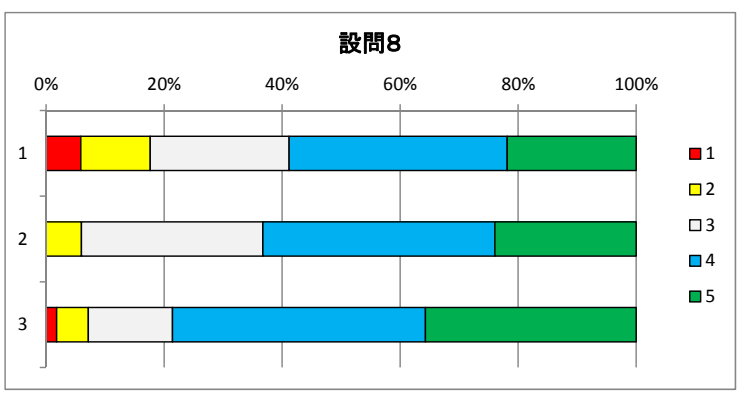

設問6 : 担任の先生以外にも気軽に相談できる先生がいる。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

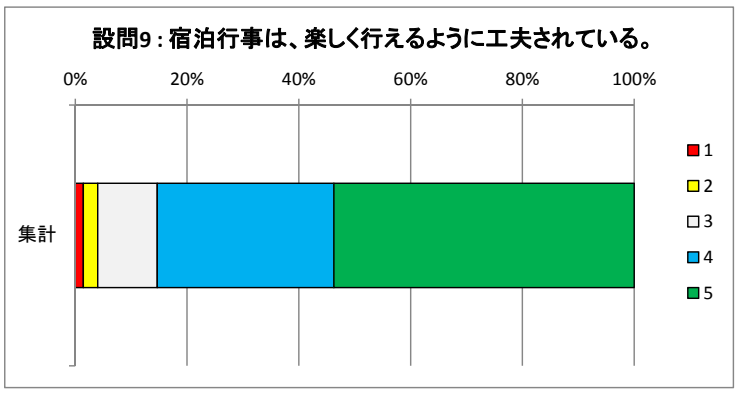

設問6
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

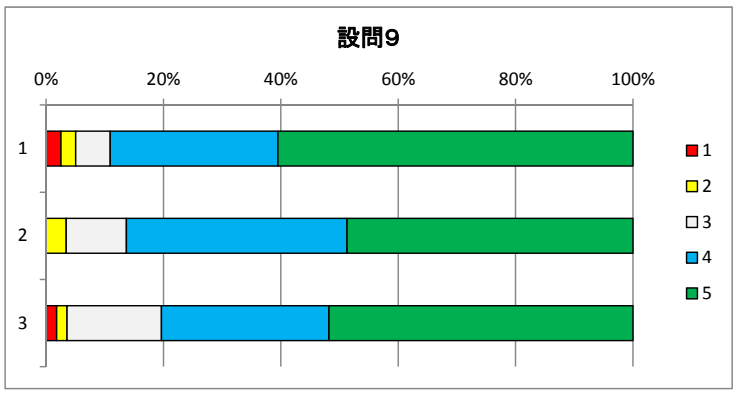

設問7 :先生方は、協力して生徒指導にあたっている。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

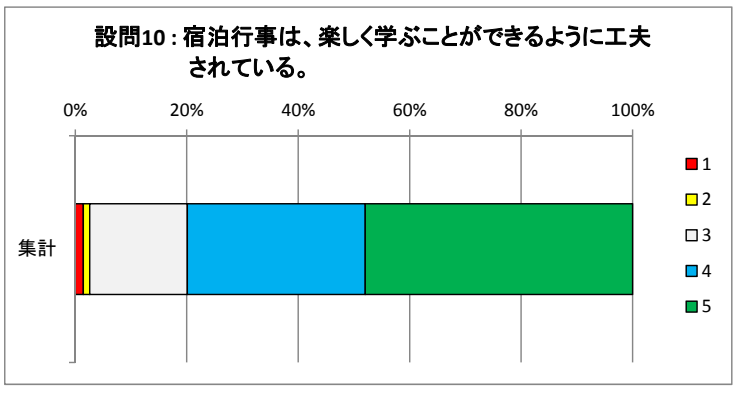

設問7
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

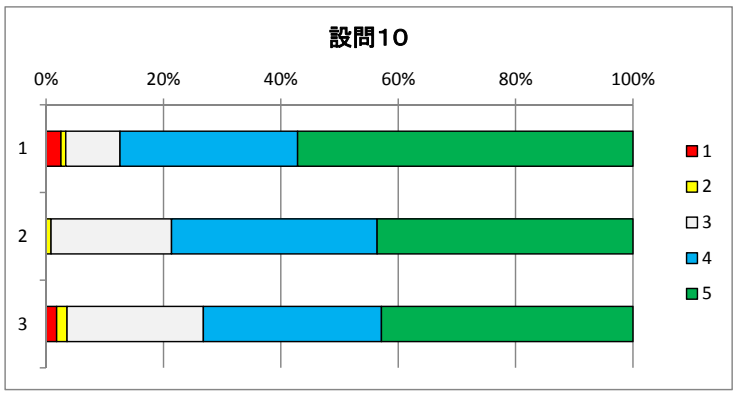

設問8 : 将来の進路や生き方について考える機会がある。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

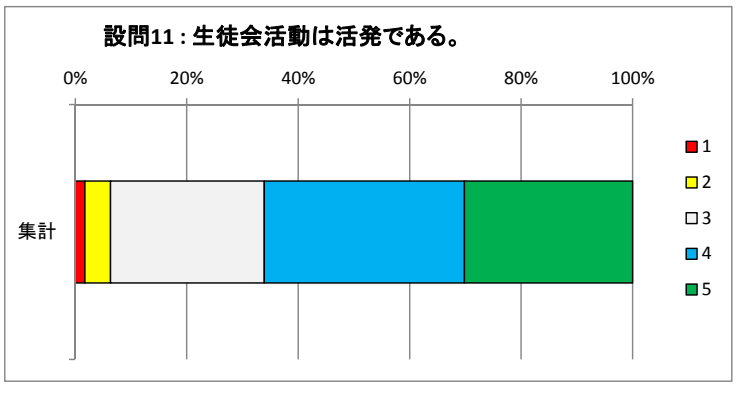

設問8
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

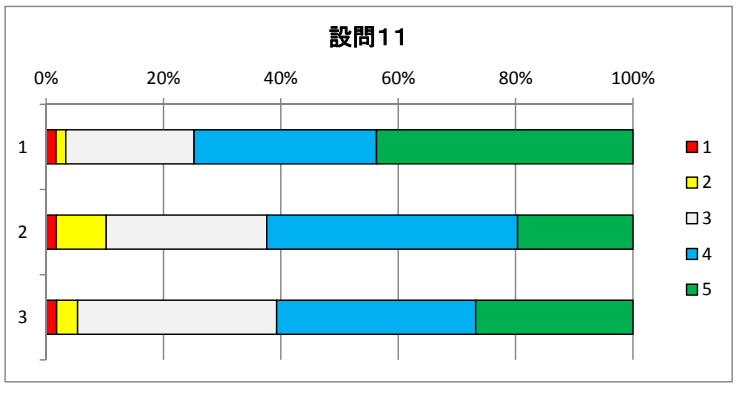

設問9 : 宿泊行事は、楽しく行えるように工夫されている。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

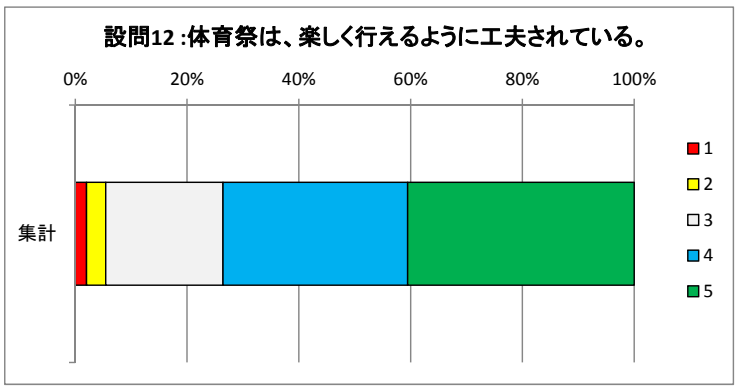

設問9
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

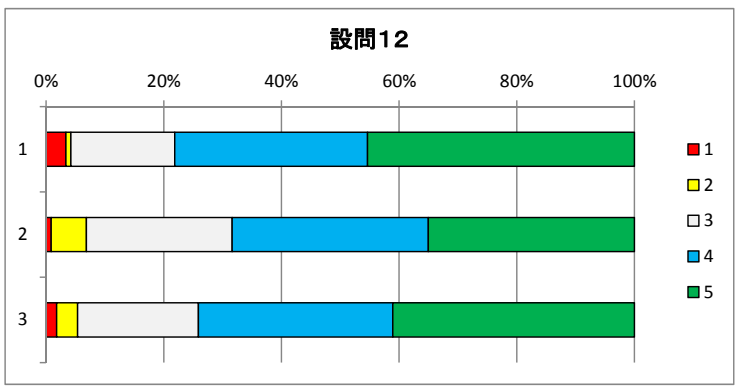

設問10 : 宿泊行事は、楽しく学ぶことができるように工夫されている。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

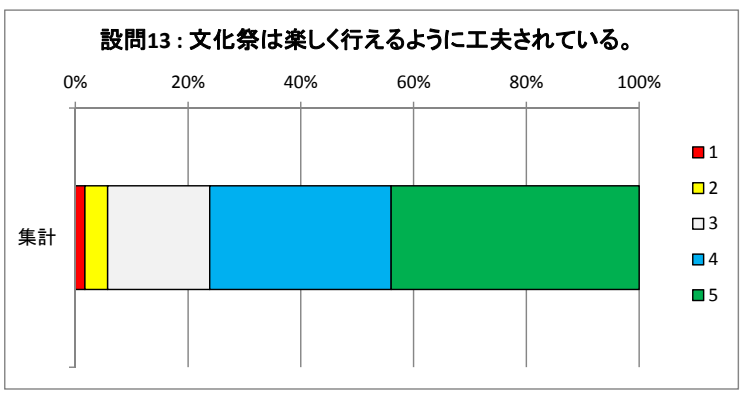

設問10
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

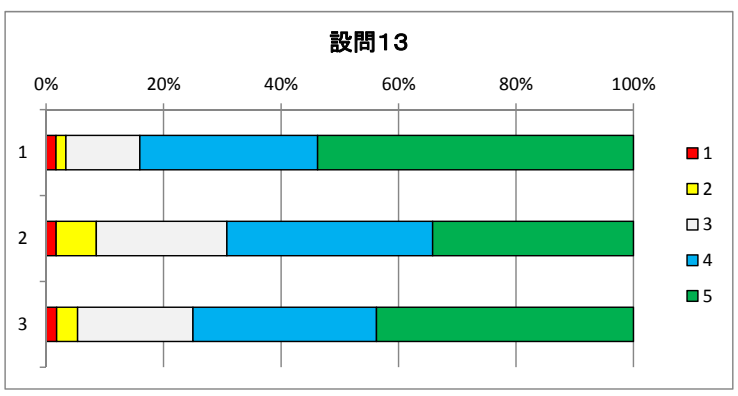

設問11 : 生徒会活動は活発である。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

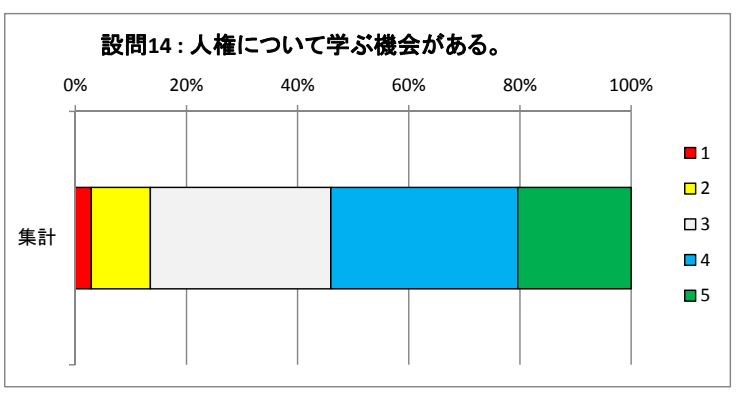

設問11
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

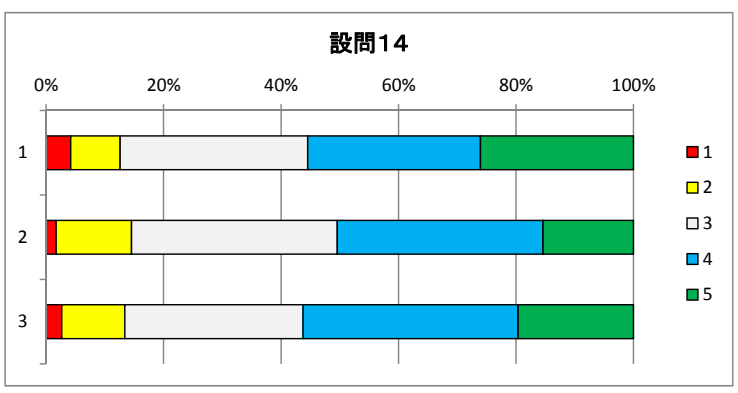

設問12 :体育祭は、楽しく行えるように工夫されている。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

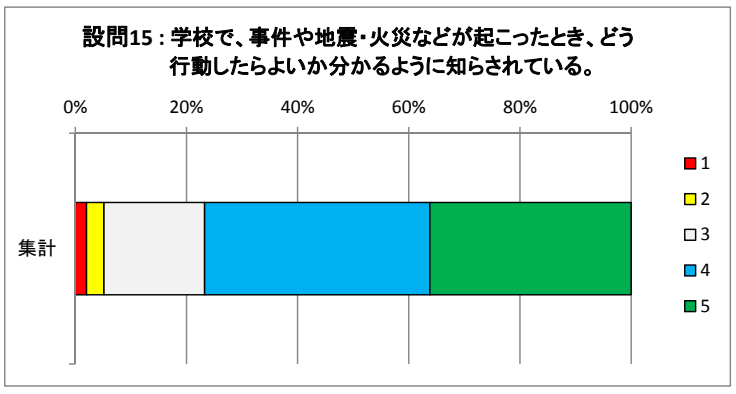

設問１２
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

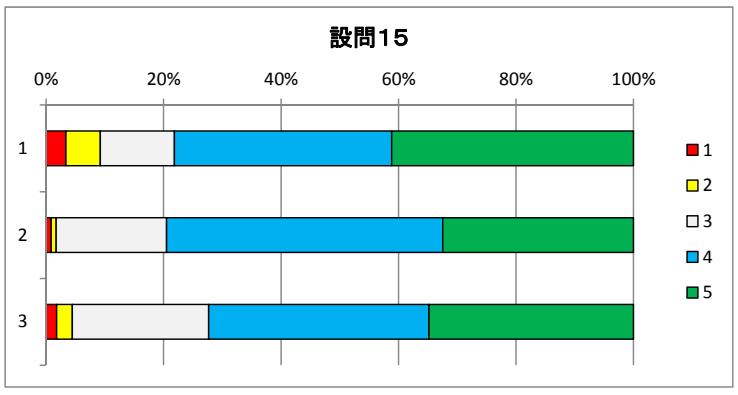

設問13 : 文化祭は楽しく行えるように工夫されている。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

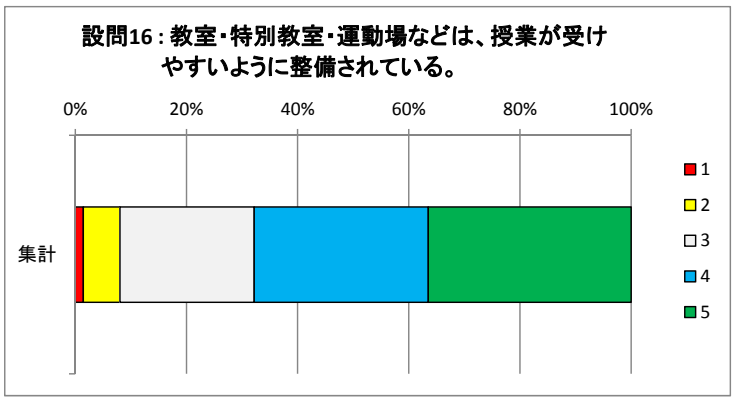

設問１３
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

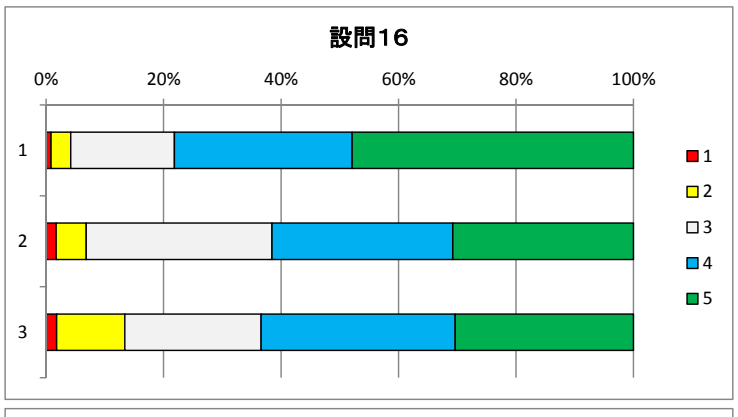

設問14 : 人権について学ぶ機会がある。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

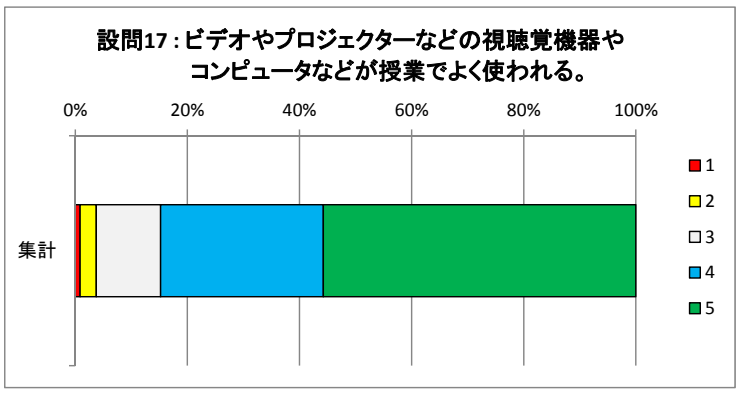

設問１４
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

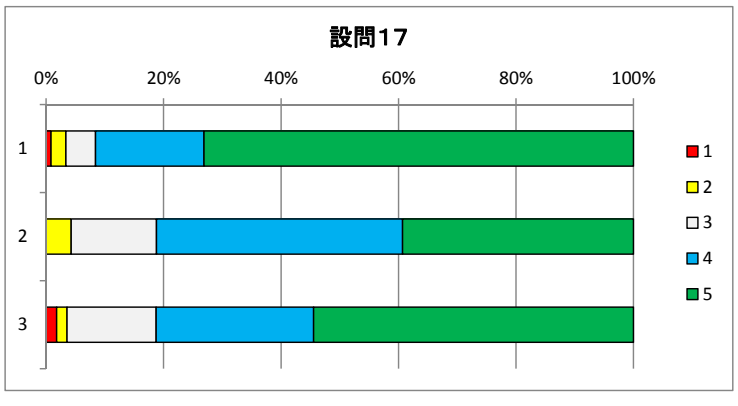

設問15 : 学校で、事件や地震・火災などが起こったとき、どう
行動したらよいか分かるように知らされている。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

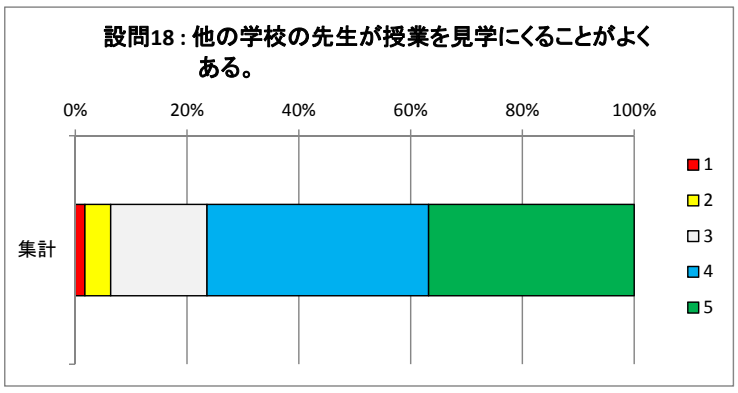

設問１５
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

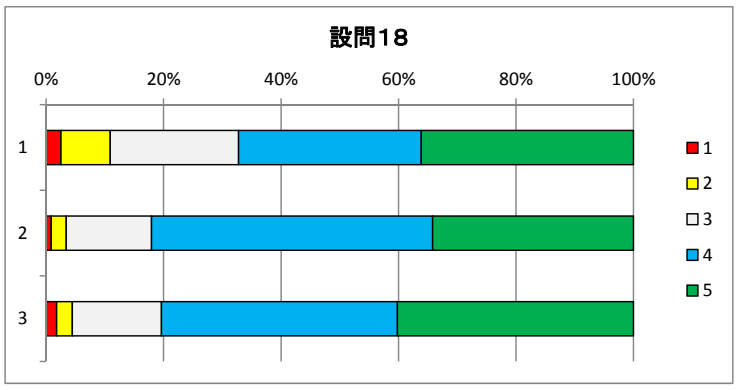

設問16 : 教室・特別教室・運動場などは、授業が受け
やすいように整備されている。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

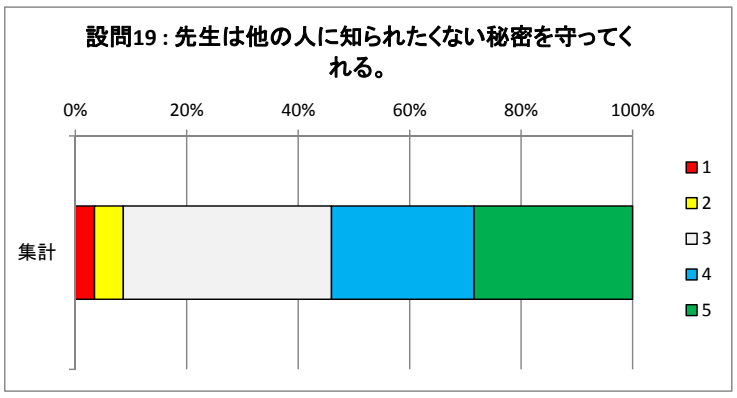

設問１６
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

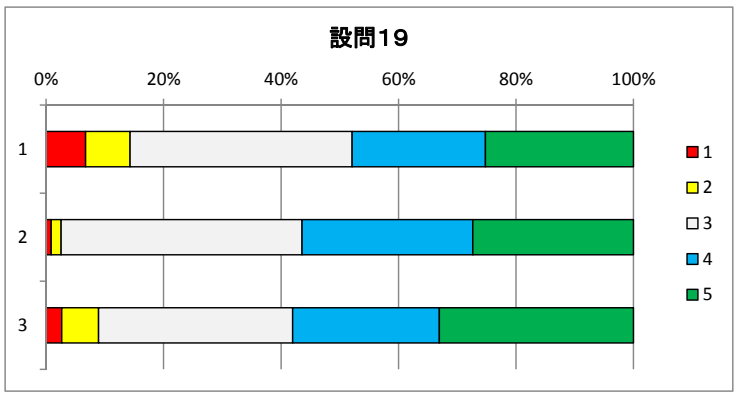

設問17 : ビデオやプロジェクターなどの視聴覚機器や
コンピュータなどが授業でよく使われる。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

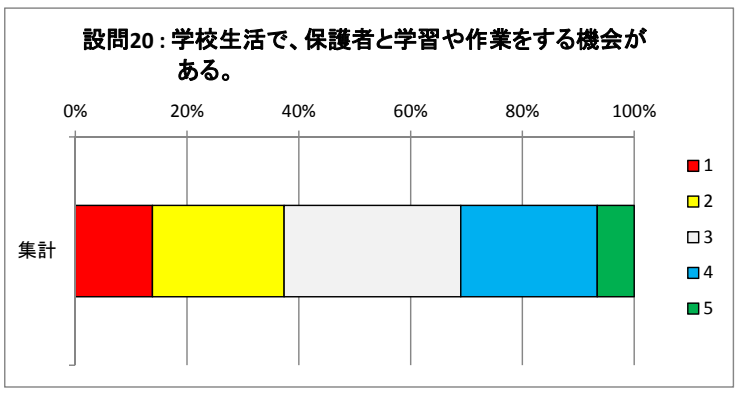

設問１７
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

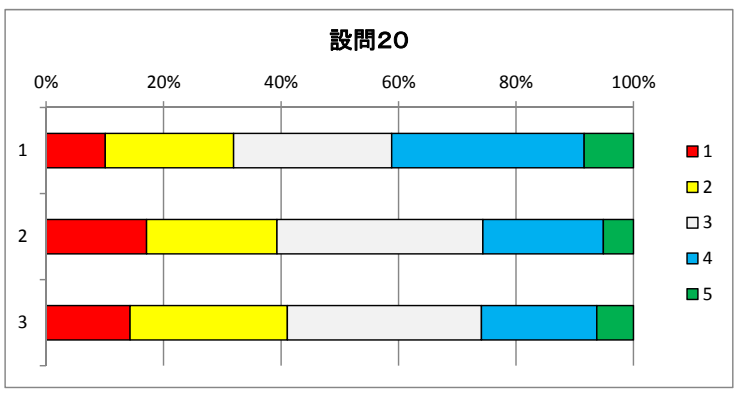

設問18 : 他の学校の先生が授業を見学にくることがよくある。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

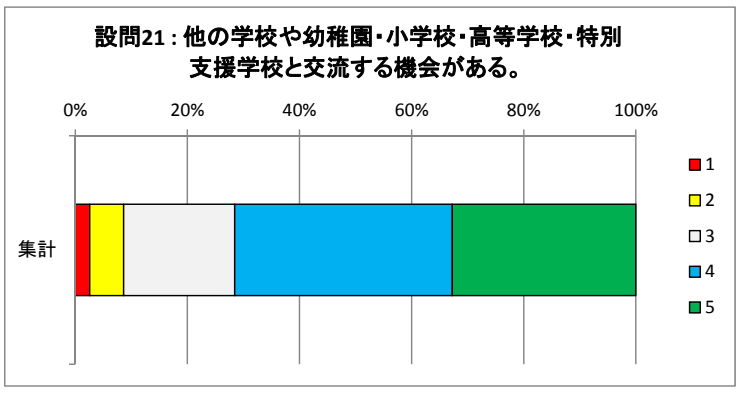

設問18
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

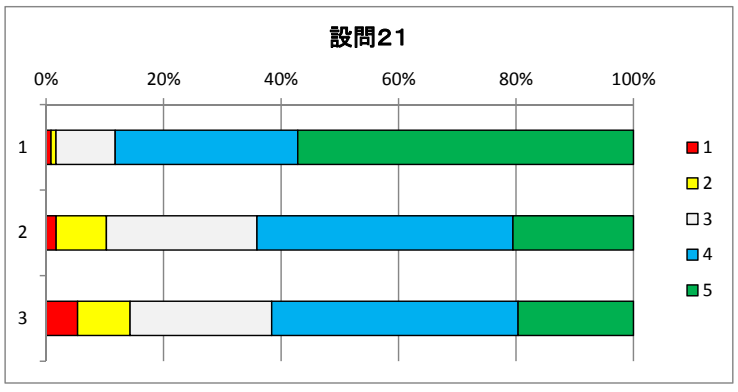

設問19 : 先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

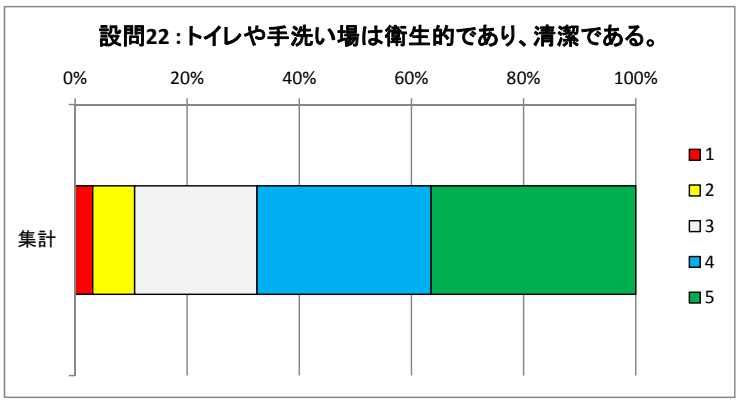

設問19
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

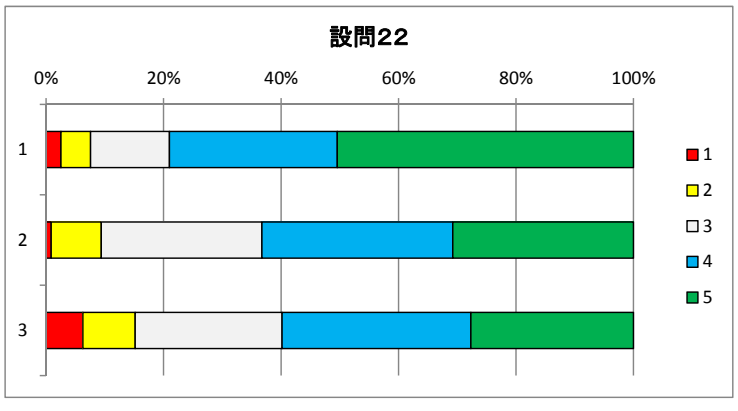

設問20 : 学校生活で、保護者と学習や作業をする機会がある。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

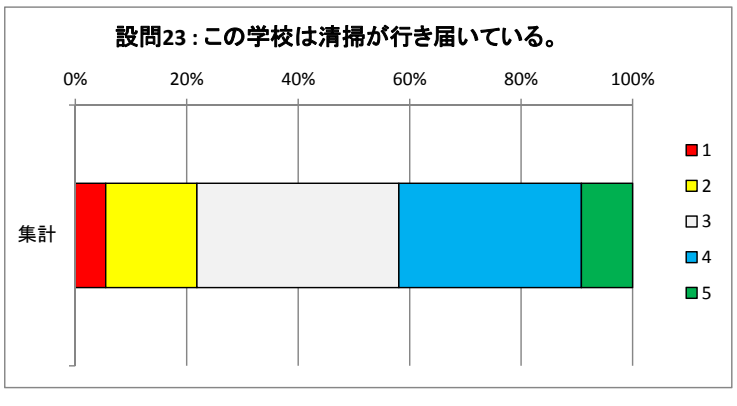

設問20
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

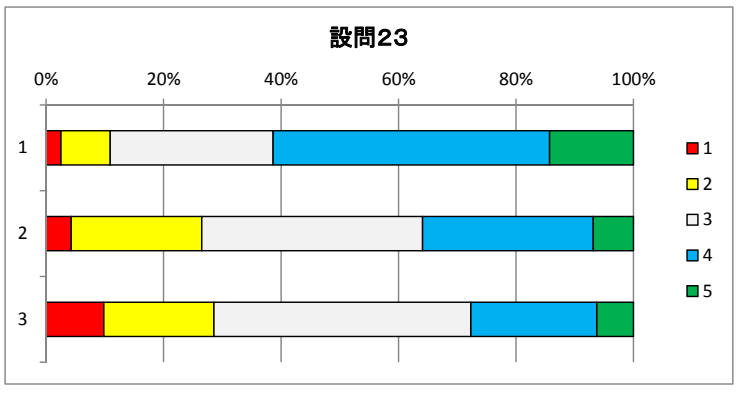

設問21 : 他の学校や幼稚園・小学校・高等学校・特別支援学校と交流する機会がある。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5


設問21
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5


設問22 : トイレや手洗い場は衛生的であり、清潔である。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5


設問22
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5


設問23 : この学校は清掃が行き届いている。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
集計
1
2
3
4
5

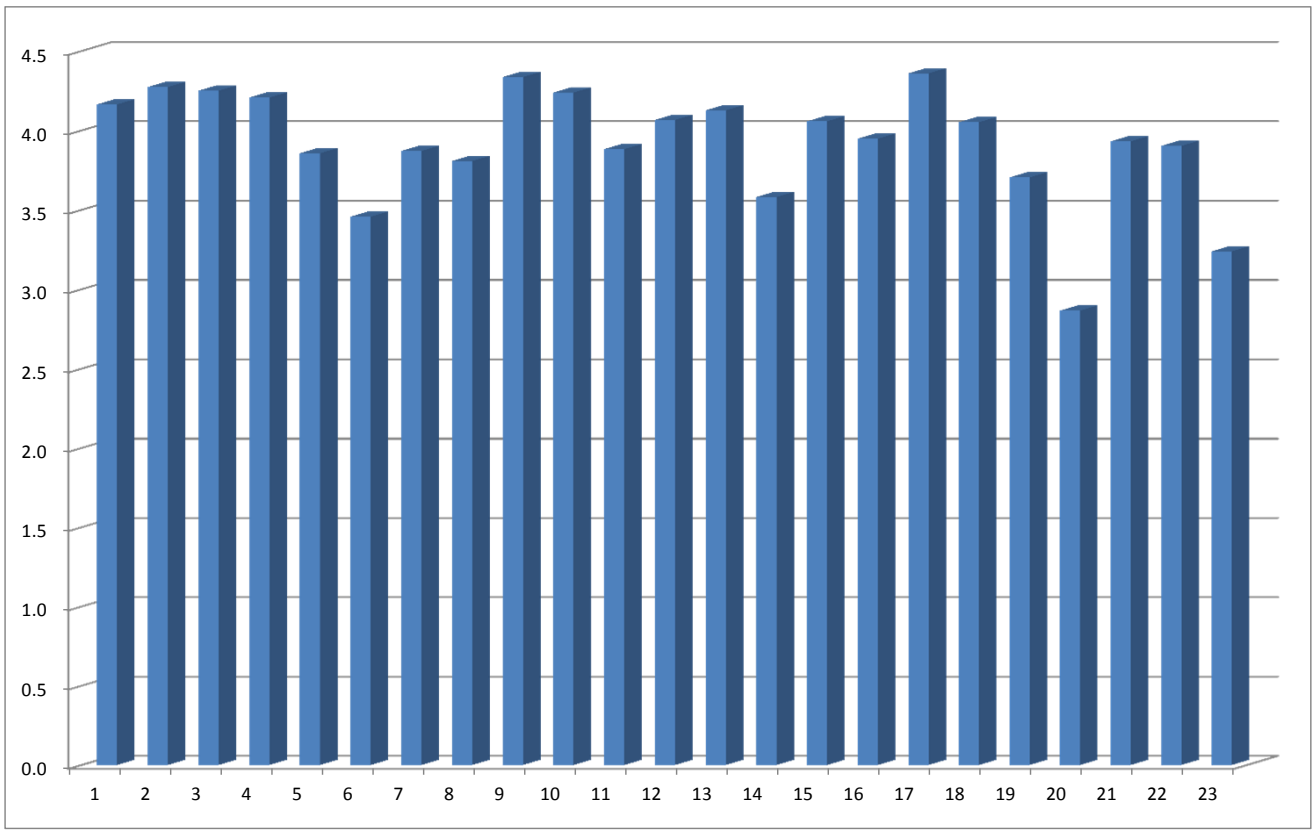

設問23
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1
2
3
1
2
3
4
5

学校診断アンケート

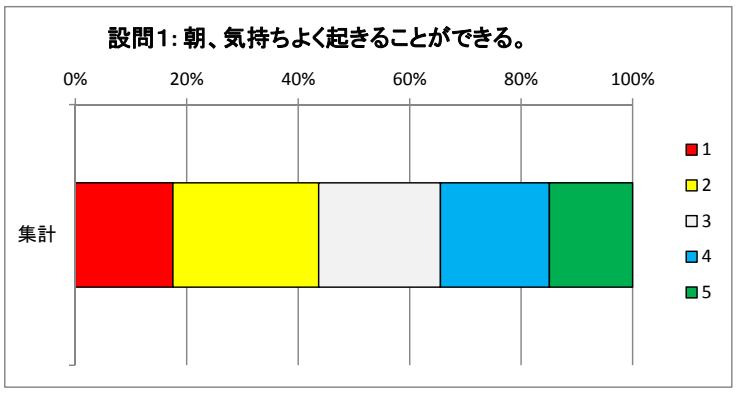
設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
H25平均	4.2	4.3	4.3	4.2	3.9	3.5	3.9	3.8	4.3	4.2	3.9	4.1	4.1
H24平均	4.4	4.1	4.0	4.3	3.8	3.6	3.8	3.9	4.3	3.9	3.5	4.1	4.1

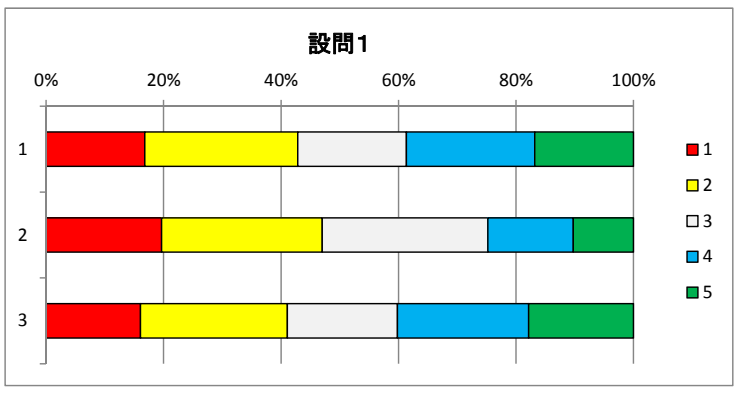
※14 昨年度・人権について学ぶ機会がある。　※18　昨年度・他の学校先生が授業を見学に来ることがよくある。

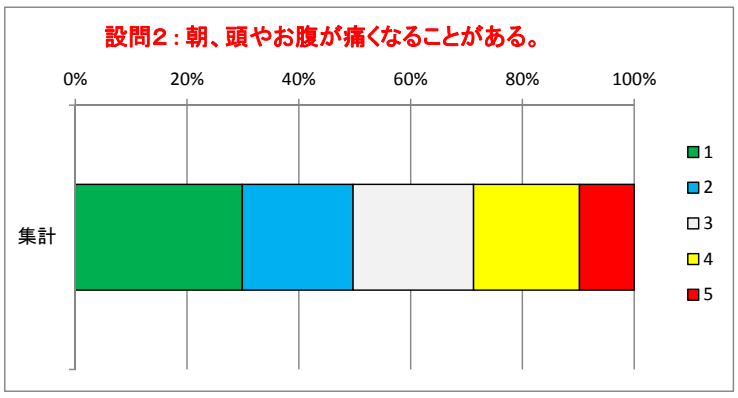
設問	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
H25平均	3.6	4.1	3.9	4.4	4.1	3.7	2.9	3.9	3.9	3.2
H24平均	3.4	4.0	4.0	4.1	4.4	3.7	2.7	3.4	4.1	3.5

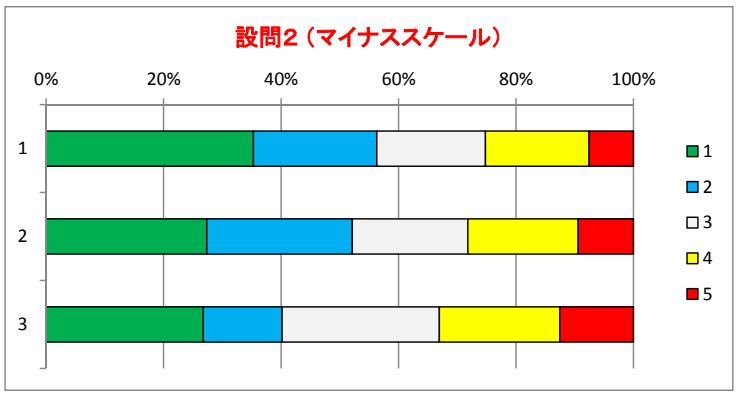


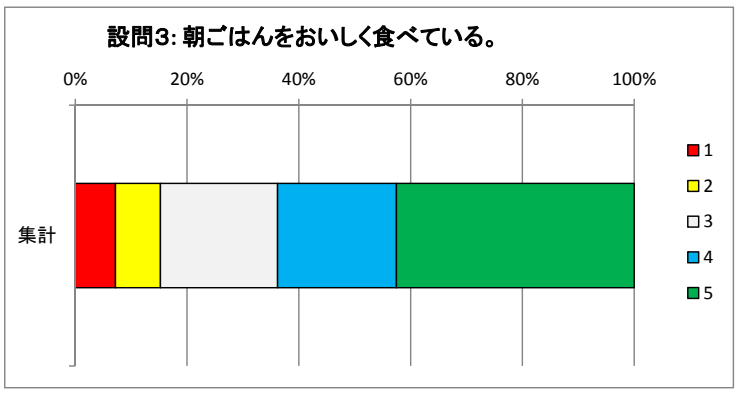
こころとからだのアンケート結果

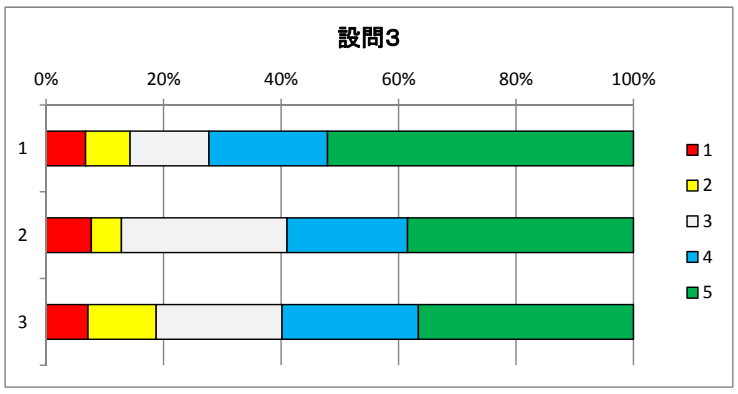


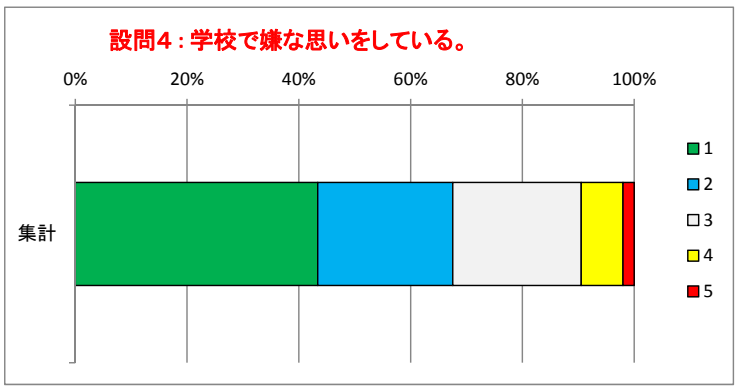


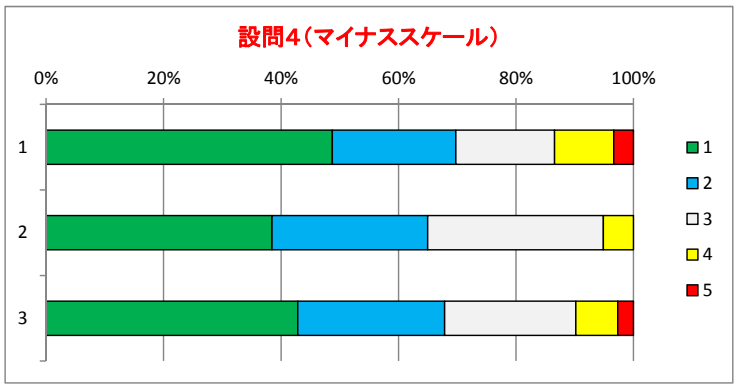


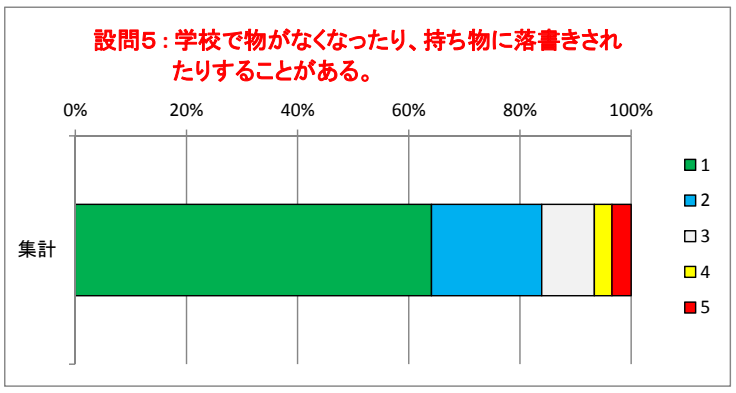


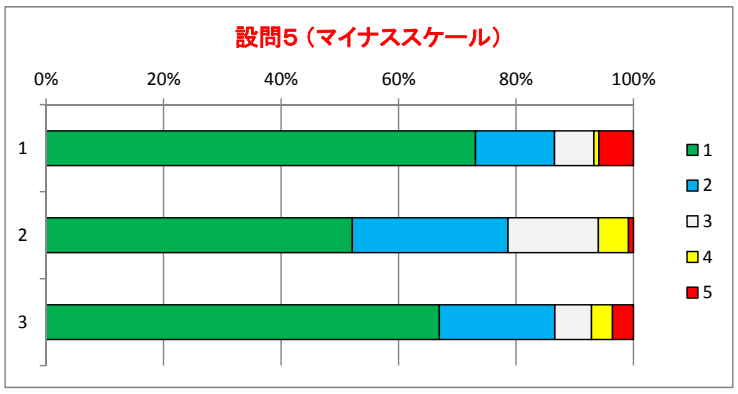


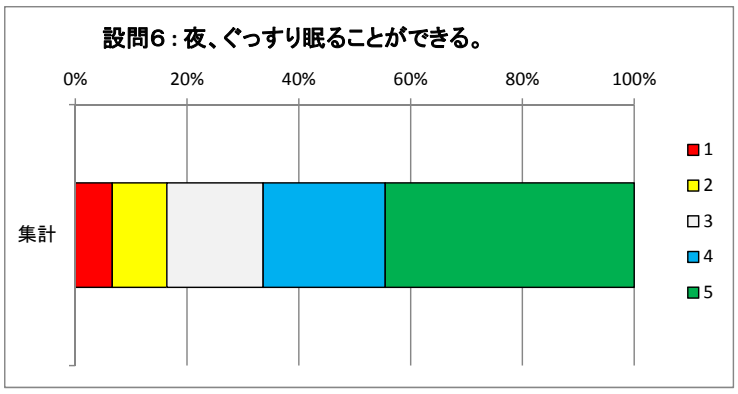


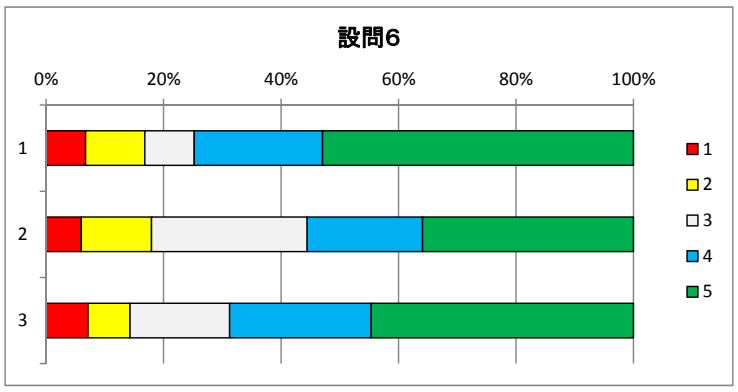


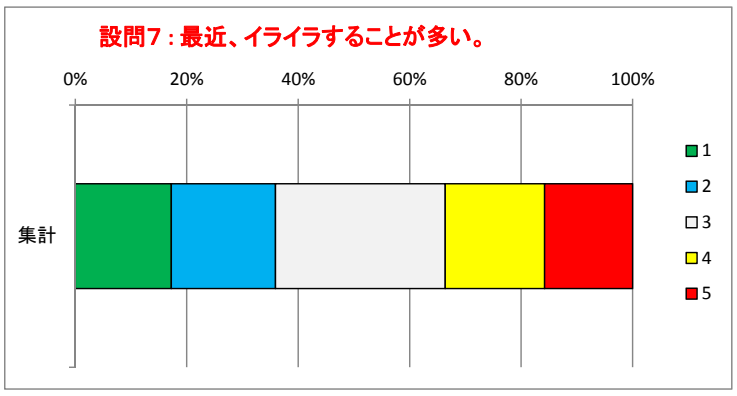


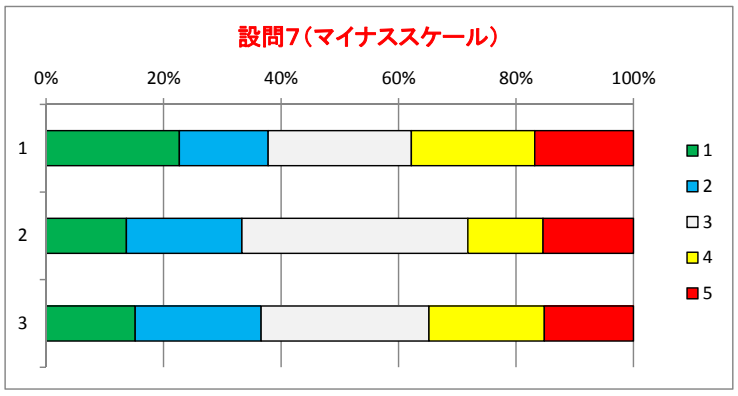


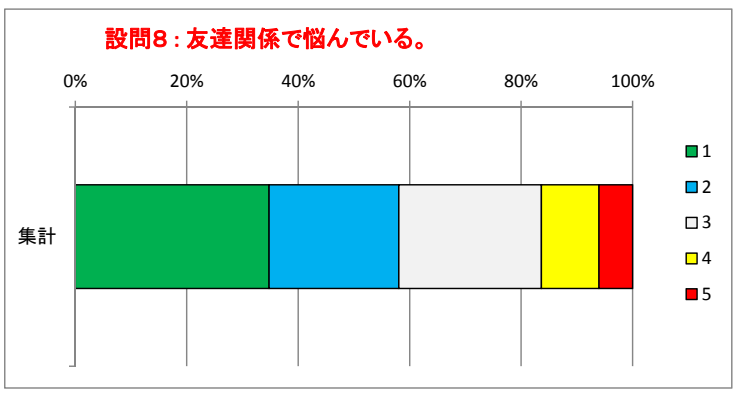


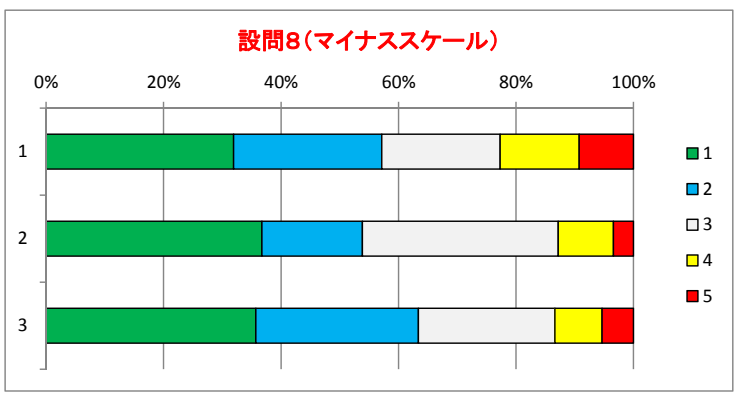


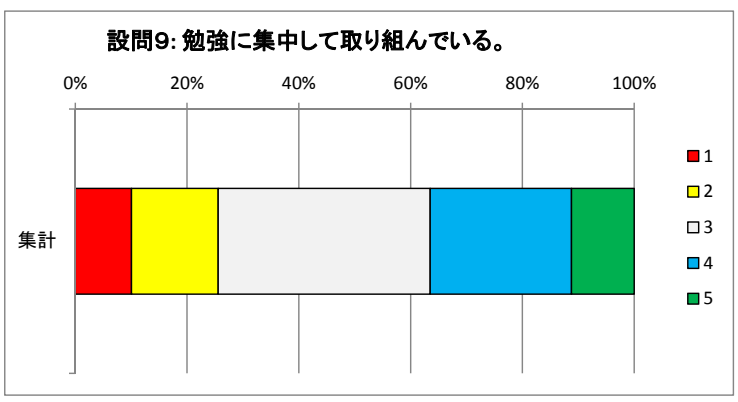


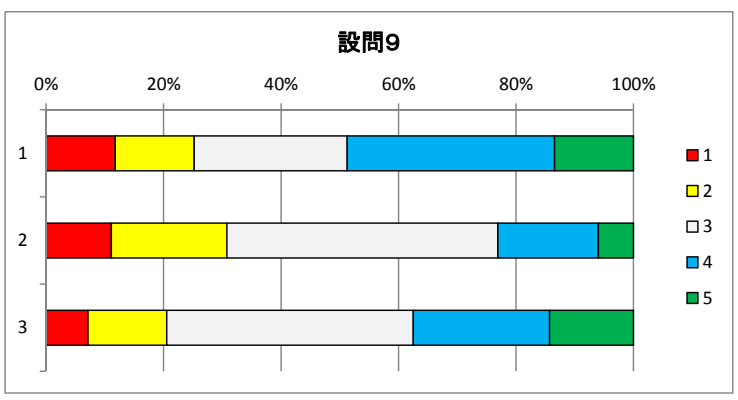


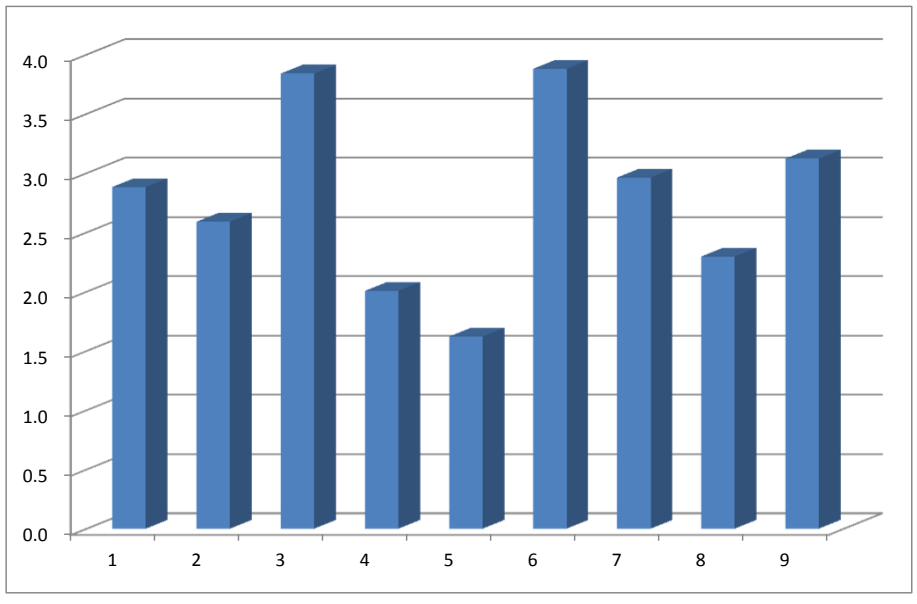










こころとからだのアンケート

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9
H25平均	2.9	2.6	3.8	2.0	1.6	3.9	3.0	2.3	3.1
H24平均	3.0	2.6	3.8	1.9	1.8	3.8	2.8	2.2	3.2
		高いほど×		高いほど×	高いほど×		高いほど×	高いほど×